

犬山市

ヤングケアラー実態調査に関するアンケート調査結果

報告書



2024年3月  
(令和6年3月)

犬山市

## 目 次

I	調査概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象者等.....	1
3	回収状況.....	1
II	アンケート結果概要.....	2
III	アンケート調査結果.....	4
	【小学生低学年】.....	4
	【小学生高学年】.....	6
	【中学生】.....	12
	【高校生世代】.....	18
IV	犬山市のヤングケアラーの現状と今後の支援.....	29

# I 調査概要

## 1 調査の目的

本調査は、当市のヤングケアラーの実態把握及び今後のヤングケアラー支援のために必要な検討材料を把握するために実施した。

## 2 調査対象者等

- 調査対象者：市内小学校に在籍する児童 3,420人  
市内中学校に在籍する児童 1,961人  
市内在住の高校生（高校1年・2年相当）の年齢にある児童 1,490人

- 調査方法：小学生、中学生  
各生徒、児童に配布された学習用端末（クロームブック）を使用し、あいち電子申請・届出システムによりWEBアンケートを行った。  
※事前に、ヤングケアラーを理解するための授業を学校にて行い、アンケートへの回答（入力）は、教室内で各自が行った。  
※小学校低学年（1年生～3年生）については、教諭からアンケートの内容を説明するなど、サポートをもらった。

### 高校生世代

- 自身のスマホ等を使用し、あいち電子申請・届出システムによりWEBアンケートを行った。  
※対象児童に対して、URL情報のQRコードを付したハガキを送付し、あいち電子申請・届出システムによりアンケート調査を実施した。

- 調査期間：令和5年10月2日（月）～令和5年11月30日（木）

## 3 回収状況

対象	調査対象数	回答数	回答率
小学生低学年	1,610人	1,512人	93.9%
小学生高学年	1,810人	1,561人	86.2%
中学生	1,961人	1,589人	81.0%
高校生世代	1,490人	242人	16.2%
計	6,871人	4,904人	71.4%

小中学生の回答率が高いのは、学校の授業の時間を利用して調査したことに起因する。

## Ⅱ アンケート結果概要

### 【小学生低学年】

- 調査対象数は、1,610人で、回答数は、1,512人だった。(回答率93.9%)
- お世話をしている児童の割合は、全体の半数近い44%(665人)で非常に高い割合となっている。これは、対象児童の年齢が低く、“お手伝い”と“お世話”を混同して回答していることが原因と推測される。
- お世話をしていると答えた児童のうち、「自分だけでお世話している」と答えた児童の割合は、12%(219件)であった。
- 「お世話をつらい」と答えた児童の割合は、お世話をしていると答えた児童の8%(123件)であった。

### 【小学生高学年】

- 調査対象数は、1,810人で、回答数は、1,561人だった。(回答率86.2%)
- お世話をしている人が「いる」と答えた児童は、回答者全体の8%(126人)であった。
- お世話の相手は、回答数171件のうち「兄弟・姉妹」が44%(76件)と最も高く、次に「母親」が20%(35件)であった。
- お世話をする事については、回答数192件のうち、「楽しい」や「やりがいを感じている」といった肯定的な回答は、46%(88件)となった。また、「とくになにも感じていない」が15%(29件)、「体が疲れる」、「楽しくない」、「こころが疲れる」といった否定的な回答は、27%(52件)となった。

### 【中学生】

- 調査対象数は、1,961人で、回答数は、1,589人だった。(回答率81.0%)
- お世話をしている人が「いる」と答えた児童は、回答者全体の4%(59人)であった。
- お世話の相手は、回答数73件のうち「兄弟・姉妹」が49%(36件)と最も高く、次に「母親」が19%(14件)であった。
- お世話をすることについては、回答数78件のうち、「特になにも感じていない」が24件(31%)、「やりがい」や「楽しい」といった肯定的な回答は、24件(31%)となった。また、「体が疲れる」、「楽しくない」、「こころが疲れる」、「もっと勉強する時間が欲しい」、といった否定的な回答は、28件(36%)となった。

### 【高校生世代】

- 調査対象数は、1,490人で、回答数は、242人だった。(回答率16.2%)なお、回答率が低い理由は、案内はがきを対象児童に郵送し、WEBアンケートに誘導する調査方法としたことが要因と考えられる。
- お世話をしている人が「いる」と答えた児童は、回答者全体の6%(15人)となった。
- お世話の相手は、回答者16件のうち、「兄弟・姉妹」が44%(7件)と最も高く、次に「母親」が25%(4件)であった。
- お世話をすることについては、回答数22件のうち、「やりがい」や「楽しい」といった肯定的な回答は、9%(2件)であった。また、「体が疲れる」、「楽しくない」、「心が疲れる」、「もっと遊んだり勉強する時間が欲しい」、といった否定的な回答は、64%(14件)となった。「特に何も感じていない」は、18%(4件)となった。お世話をすることについて、小学生・中学生と比べ、否定的な意見の割合が高かった。

### Ⅲ アンケート調査結果

【小学生低学年】 1年生～3年生 回答人数：1,512人

問1 なんねんせい ですか

回答	1ねんせい	2ねんせい	3ねんせい	計
回答数	505	483	508	1,496

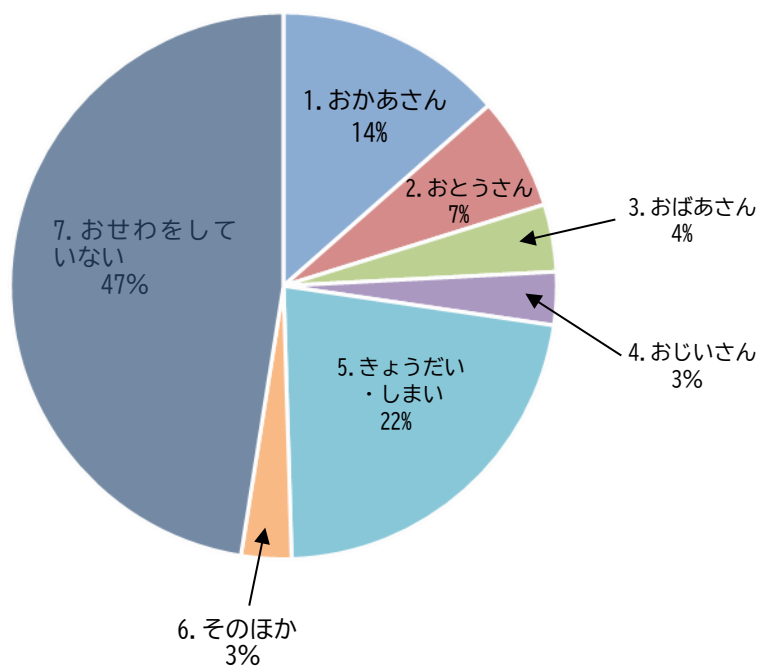
※回答人数と合計回答数が異なるのは、未回答の児童がいるため。

問2 あなたは だれかの おせわを していますか

割合が高いのは、「きょうだい・しまい」が22%、「おかあさん」が14%、「おとうさん」が7%となっている。「おせわをしていない」は、全体の47%となっている。

■回答数計：1,783件（複数選択可）

回答	1.おかあさん	2.おとうさん	3.おばあさん	4.おじいさん	5.きょうだい い・しまい	6.そのほか	7.おせわを していない
回答数	241	119	71	56	396	53	847

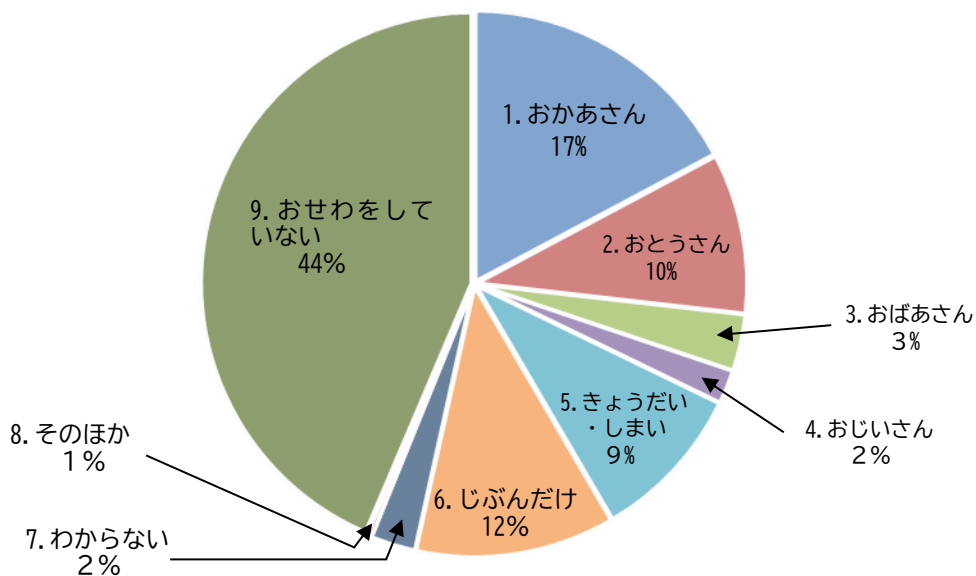


**問3** おせわは だれと いっしょに していますか

割合が高いのは、「おかあさん」が17%、「自分だけ」が12%、「おとうさん」が10%、「きょうだい・しまい」が9%となっている。「お世話をしていない」は、全体の44%となっている。

■回答数計：1,840件（複数選択可）

回答	1.おかあさん	2.おとうさん	3.おばあさん	4.おじいさん	5.きょうだい・しまい	6.じぶんだけ	7.わからない	8.その他	9.お世話をしていない
回答数	317	176	62	37	173	219	49	5	802

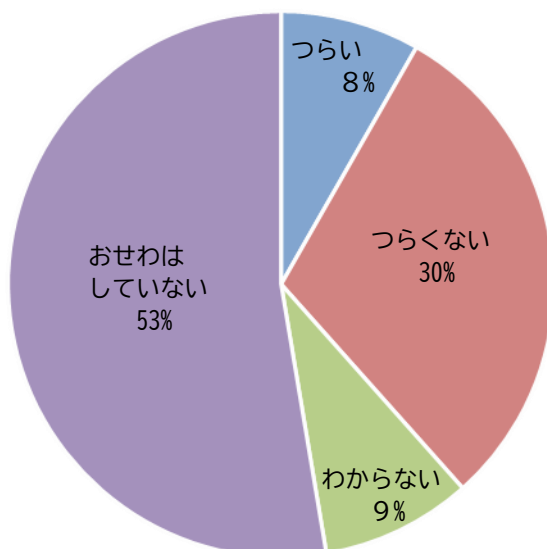


**問4** おせわは つらいですか

「つらい」は、8%、「わからない」は、9%となっている。「つらくない」は、30%、「おせわはしていない」は、53%となっている。

■回答数計：1,489件

回答	つらい	つらくない	わからない	おせわはしていない
回答数	123	449	133	784



## 【小学生高学年】 4年生～6年生 回答人数：1,561人

**問1** あなたの学年（がくねん）を教（おし）えてください

回答	1.小学4年生	2.小学5年生	3.小学6年生	計
回答数	500	495	465	1,460

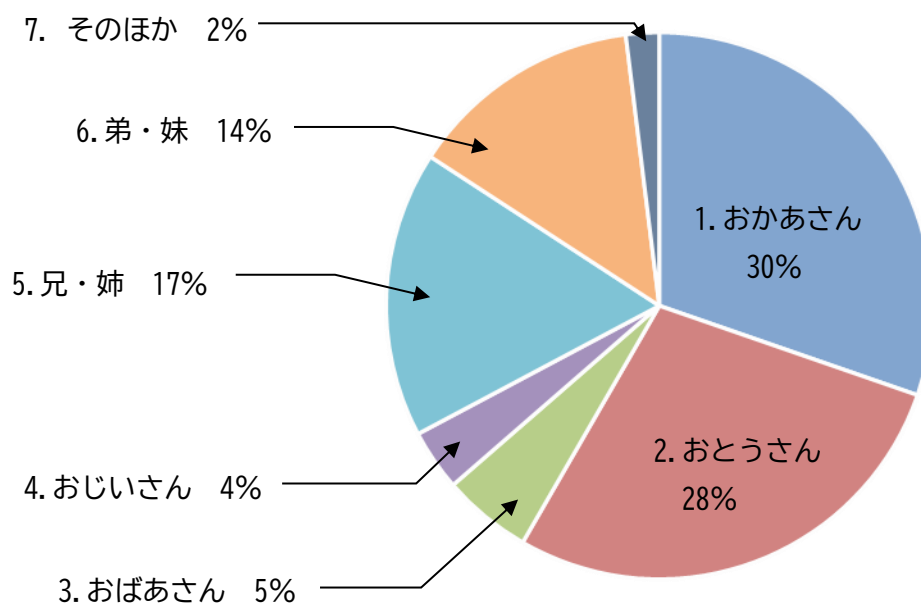
※回答人数と合計回答数が異なるのは、未回答の児童がいるため。

**問2** 誰（だれ）といっしょに住（す）んでいますか

「おかあさん」が1,525件、「おとうさん」が1,411件、「兄・姉」が853件、「弟・妹」が697件となっている。

■回答数計：5,033件（複数選択可）

回答	1.おかあさん	2.おとうさん	3.おばあさん	4.おじいさん	5.兄・姉	6.弟・妹	7.そのほか
回答数	1,525	1,411	266	182	853	697	99

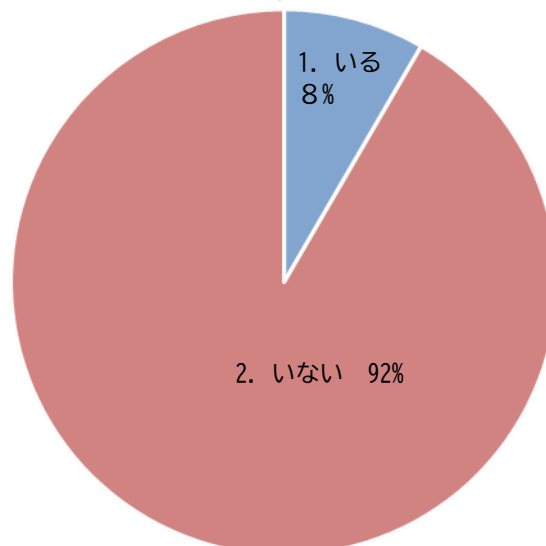


**問3** 家族（かぞく）の中（なか）にあなたがお世話（せわ）をしている人（ひと）はいますか

お世話をしている人が「いる」が8%、「いない」が92%となっている。

■回答数計：1,505件

回答	1. いる	2. いない
回答数	126	1,379



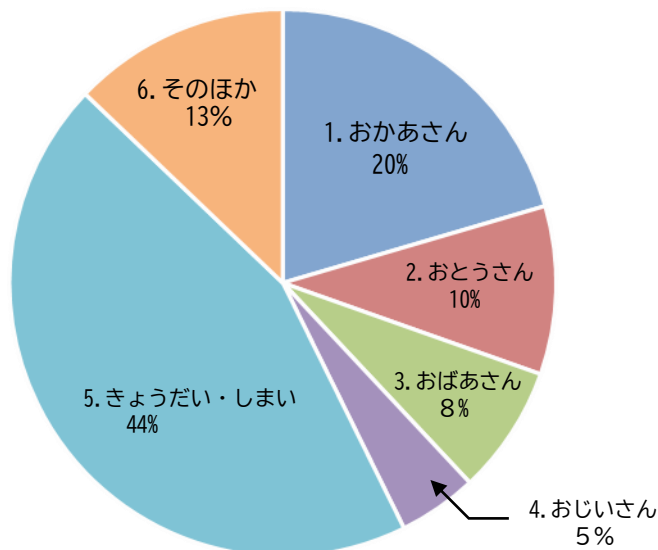


**問4** あなたは誰（だれ）のお世話（せわ）をしていますか

回答数171件のうち、「きょうだい・しまい」が76件で44%と最も多く、「おかあさん」が35件で20%、「おとうさん」が17件で10%となっている。

■回答数計：171件（複数選択可）

回答	1.おかあさん	2.おとうさん	3.おばあさん	4.おじいさん	5.きょうだい・しまい	6.その他
回答数	35	17	13	8	76	22

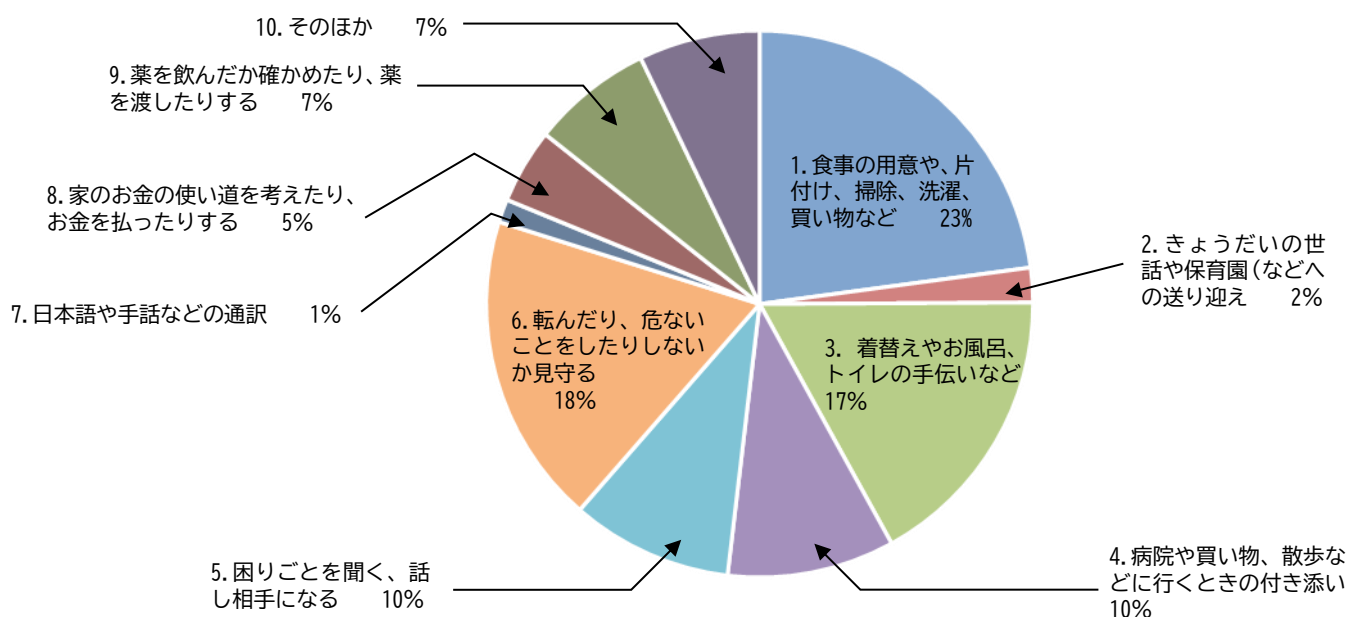


**問5** あなたはどのようなお世話（せわ）をしていますか

回答数293件のうち、「1. 食事の用意等」が67件で23%と最も多く、次に「6. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」が54件で18%、「3. 着替えやお風呂、トイレの手伝い」が50件で17%となっている。

■回答数計：293件（複数選択可）

回答	1. 食事の用意や片付け、掃除、洗濯、買い物など	2. きょうだいの世話や保育園などへの送り迎え	3. 着替えやお風呂、トイレの手伝いなど	4. 病院や買い物、散歩などに行くときの付き添い	5. 困りごとを聞く、話し相手になる	6. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る	7. 日本語や手話などの通訳	8. 家のお金の使い道を考えたり、お金を払ったりする	9. 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする	10. その他
回答数	67	6	50	29	28	54	4	13	21	



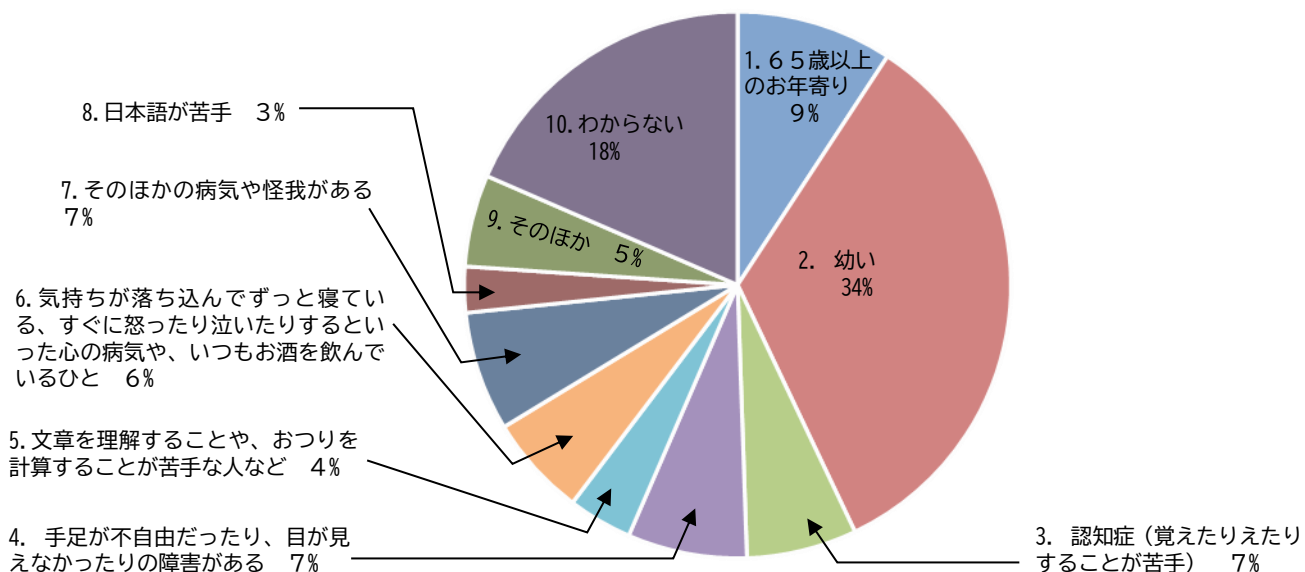
### 問6

お世話（せわ）を必要（ひつよう）としている方（かた）はどんな状況（じょうきょう）ですか

回答数184件のうち、最も多いのは「2. 若い」で62件になり、34%となっている。次に「1. 65歳以上のお年寄り」で17件になり、9%となっている。

■回答数計：184件（複数選択可）

回答	1. 65歳以上のお年寄り	2. 若い	3. 認知症（覚えたりえたりすることが苦手）	4. 手足が不自由だったり、目が見えなかったり、目の障害がある	5. 文章を理解することや、おつりを計算することが苦手な人など	6. 気持ちが落ち込んでずっと寝ている、すぐに怒ったり泣いたりするといった心の病気や、いつもお酒を飲んでいるひと	7. そのほかの病気や怪我がある	8. 日本語が苦手	9. そのほか	10. わからない
回答数	17	62	12	13	7	11	13	5	10	34



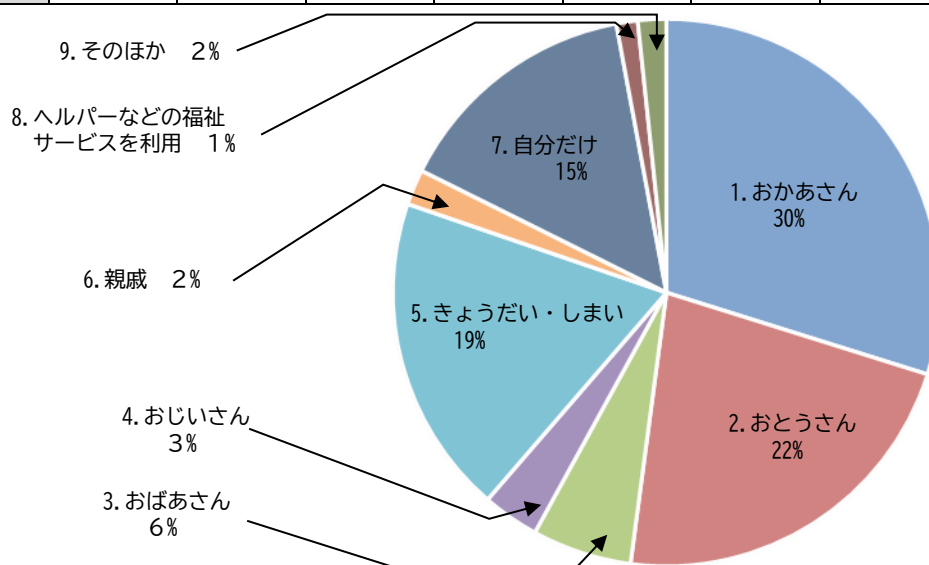
### 問7

お世話（せわ）は誰（だれ）と行っていますか。

回答数238件のうち、最も多いのは「おかあさん」で71件、30%。続いて「おとうさん」で53件、22%、「きょうだい・しまい」で45件、19%となっている。

■回答数：238件（複数選択可）

回答	1. おかあさん	2. おとうさん	3. おばあさん	4. おいさん	5. きょうだい・しまい	6. 親戚	7. 自分だけ	8. ヘルパーなどの福祉サービスを利用	9. そのほか
回答数	71	53	14	8	45	5	35	3	4



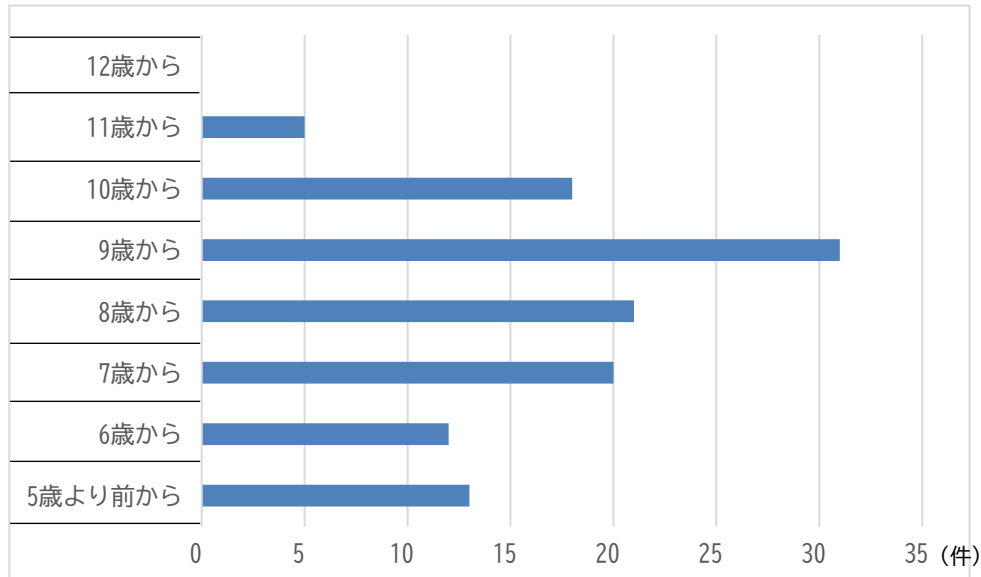
**問8**

お世話（せわ）はいつからしていますか。お世話を始（はじ）めた年齢（ねんれい）を教（おし）えてください

回答数120件のうち、最も多かったのは、「9歳から」で31件、次に「8歳から」が21件、「7歳から」が20件となっている。

■回答数計：120件

回答	5歳より前から	6歳から	7歳から	8歳から	9歳から	10歳から	11歳から	12歳から
回答数	13	12	20	21	31	18	5	0



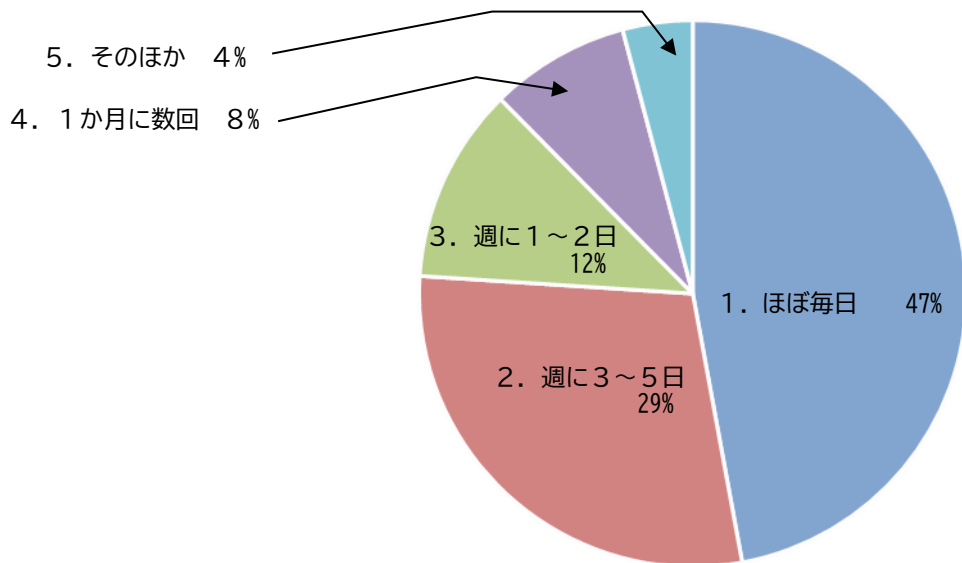
**問9**

お世話（せわ）をしている回数（かいすう）を教（おし）えてください

回答数121件のうち、最も多いのは「1. ほぼ毎日」が57件で47%、次に「2. 週に3～5日」が35件で29%、「3. 週に1～2日」が14件で12%の順になっている。

■回答数計：121件

回答	1. ほぼ毎日	2. 週に3～5日	3. 週に1～2日	4. 1か月に数回	5. そのほか
回答数	57	35	14	10	5

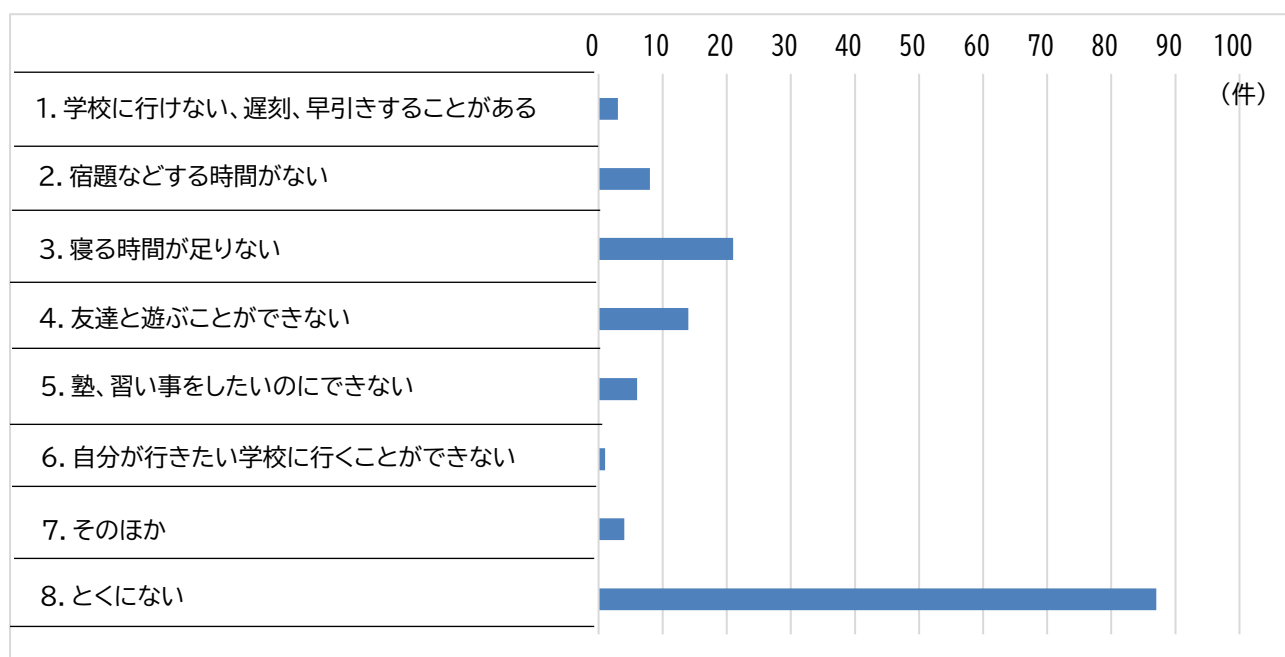


**問10** お世話（せわ）をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか

回答数144件のうち、最も多いのは、「8. とくにない」で87件。次に「3. 寝る時間が足りない」が21件、「4. 友達と遊ぶことができない」が14件となっている。

■回答数計：144件（複数選択可）

回答	1. 学校に行かない、遅刻、早引きすることがある	2. 宿題などする時間がない	3. 寝る時間が足りない	4. 友達と遊ぶことができない	5. 塾、習い事をしたいのにできない	6. 自分が行きたい学校に行くことができない	7. そのほか	8. とくにない
回答数	3	8	21	14	6	1	4	87

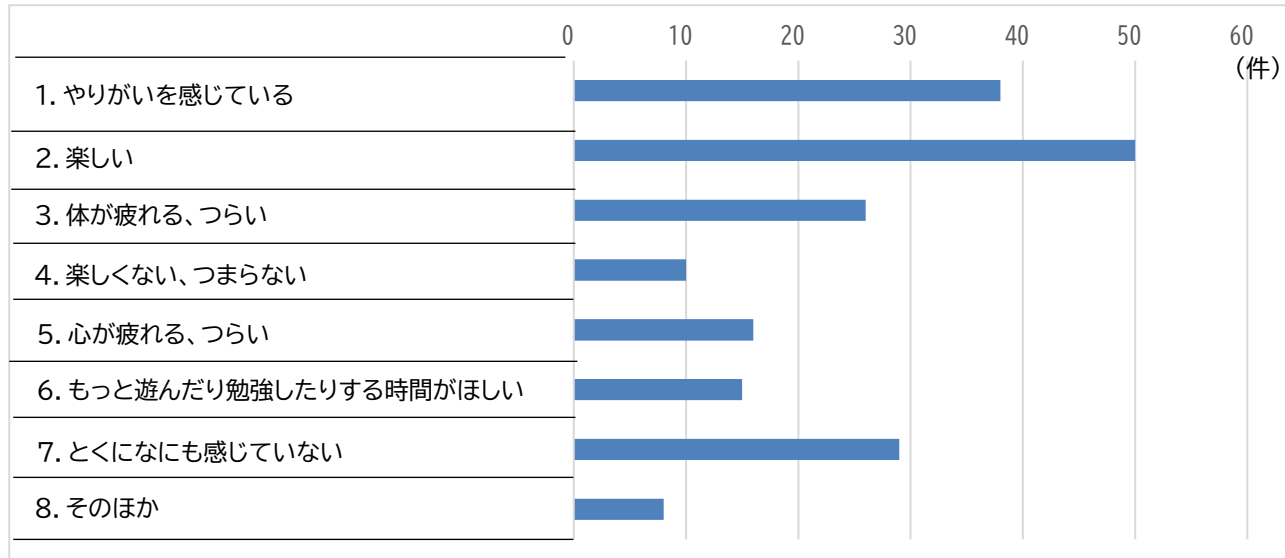


**問11** お世話（せわ）をすることについて、どのようなことを感（かん）じていますか

回答数192件のうち、最も多いのは、「2. 楽しい」で50件です。次に「1. やりがいを感じている」が38件、「7. とくになにも感じていない」が29件となっている。

■回答数計：192件（複数選択可）

回答	1. やりがいを感じている	2. 楽しい	3. 体が疲れる、つらい	4. 楽しくない、つまらない	5. 心が疲れる、つらい	6. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい	7. とくになにも感じていない	8. そのほか
回答数	38	50	26	10	16	15	29	8



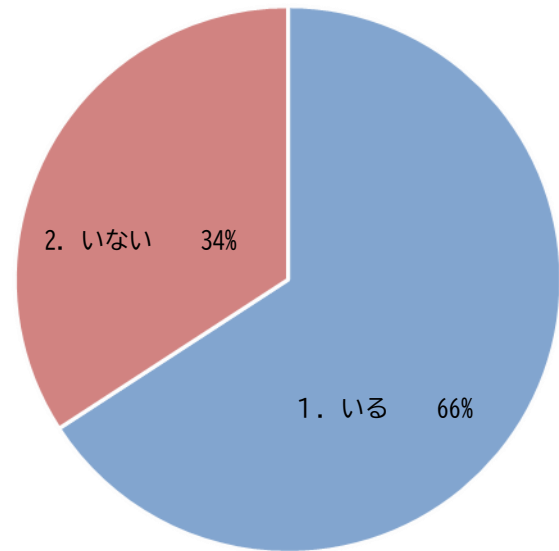
## 問12

家族（かぞく）のことや、お世話（せわ）の悩（なや）みを聞（き）いてくれる人（ひと）はいますか

回答数120件のうち、悩みを聞いてくれる人は、「いる」が66%、「いない」が34%となっている。

■回答数計：120件

回答	1. いる	2. いない
回答数	79	41



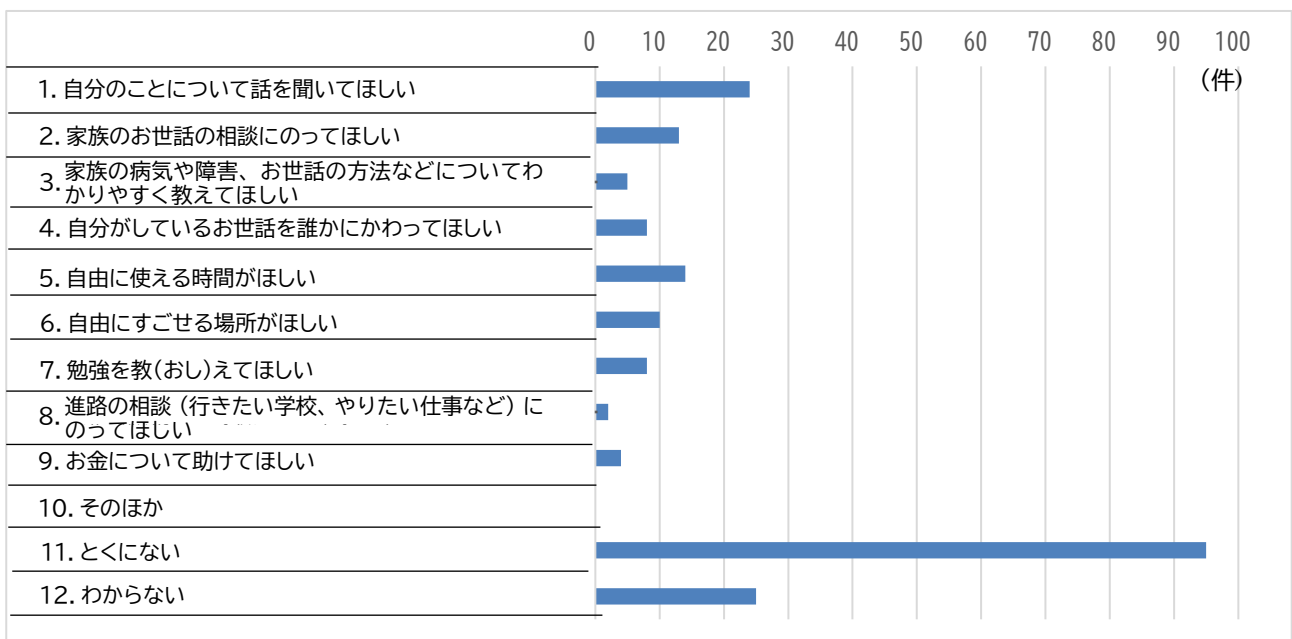
## 問13

周（まわ）りの大人（おとな）に助（たす）けてほしいことなどはありますか

回答数208件のうち、「11. とくにない」が95件と最も多く、「12. わからない」が25件、「1. 自分のことについて話を聞いて欲しい」が24件、「5. 自由に使える時間がほしい」が14件、「2. 家族のお世話の相談にのってほしい」が13件となっている。

■回答数計：208件（複数選択可）

回答	1. 自分のことについて話を聞いてほしい	2. 家族のお世話の相談にのってほしい	3. 家族の病気や障害、お世話の方法などについてわかりやすく教えてほしい	4. 自分がしているお世話を誰かにかわってほしい	5. 自由に使える時間がほしい	6. 自由にすごせる場所がほしい	7. 勉強を教（おし）えてほしい	8. 進路の相談（行きたい学校、やりたい仕事など）にのってほしい	9. お金について助けてほしい	10. そのほか	11. とくにない	12. わからない
回答数	24	13	5	8	14	10	8	2	4	0	95	25



## 【中学生】 回答人数：1,589人

**問1** あなたの学年（がくねん）を教（おし）えてください

回答	1. 中学1年生	2. 中学2年生	3. 中学3年生	計
回答数	445	532	526	1,503

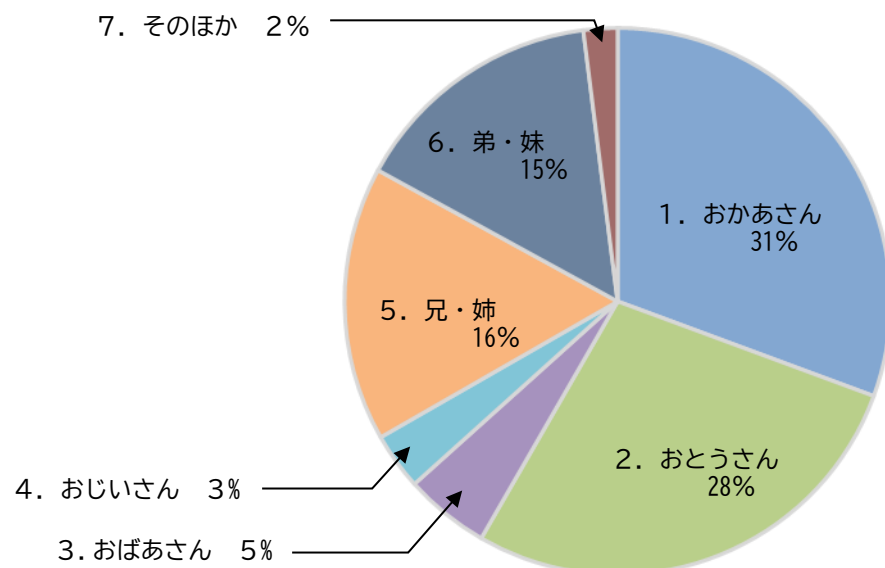
※回答人数と合計回答数が異なるのは、未回答の児童がいるため。

**問2** 誰（だれ）といっしょに住（す）んでいますか

「おかあさん」が1,539件、「おとうさん」が1,392件、「兄・姉」が816件、「弟・妹」が755件となっている。

■回答数計：5,025件（複数選択可）

回答	1. おかあさん	2. おとうさん	3. おばあさん	4. おじいさん	5. 兄・姉	6. 弟・妹	7. そのほか
回答数	1,539	1,392	253	169	816	755	101

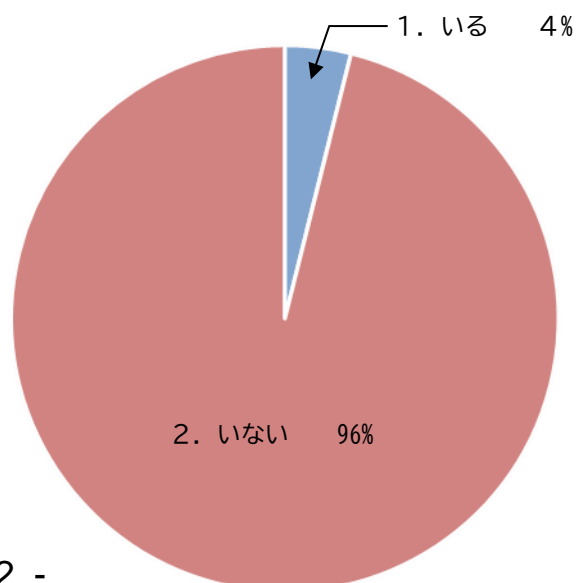


**問3** 家族（かぞく）の中（なか）にあなたがお世話（せわ）をしている人（ひと）はいいますか

お世話をしている人が「いる」が4%、「いない」が96%となっている。

■回答数計：1,515件

回答	1. いる	2. いない
回答数	59	1,456

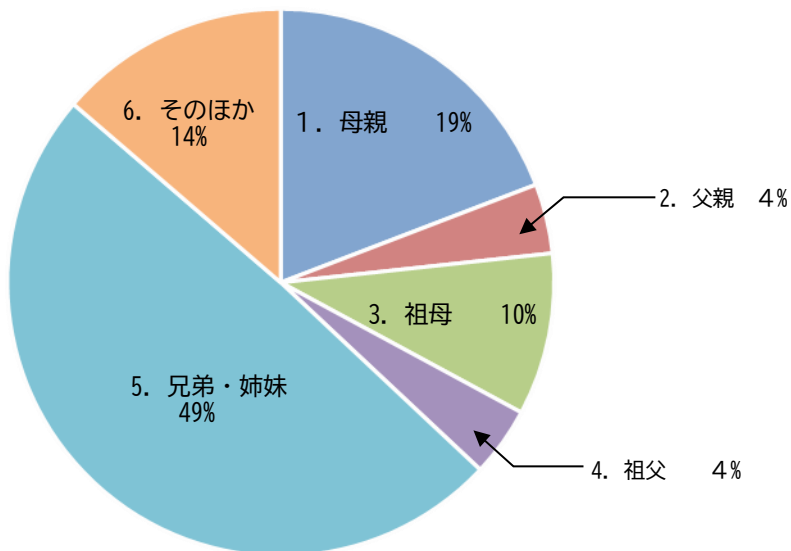


**問4** あなたは誰（だれ）のお世話（せわ）をしていますか

回答数73件のうち、「兄弟・姉妹」が36件で49%と最も多く、「母親」が14件で19%、「そのほか」が10件で14%となっている。

■回答数計：73件（複数選択可）

回答	1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父	5. 兄弟・姉妹	6. そのほか
回答数	14	3	7	3	36	10

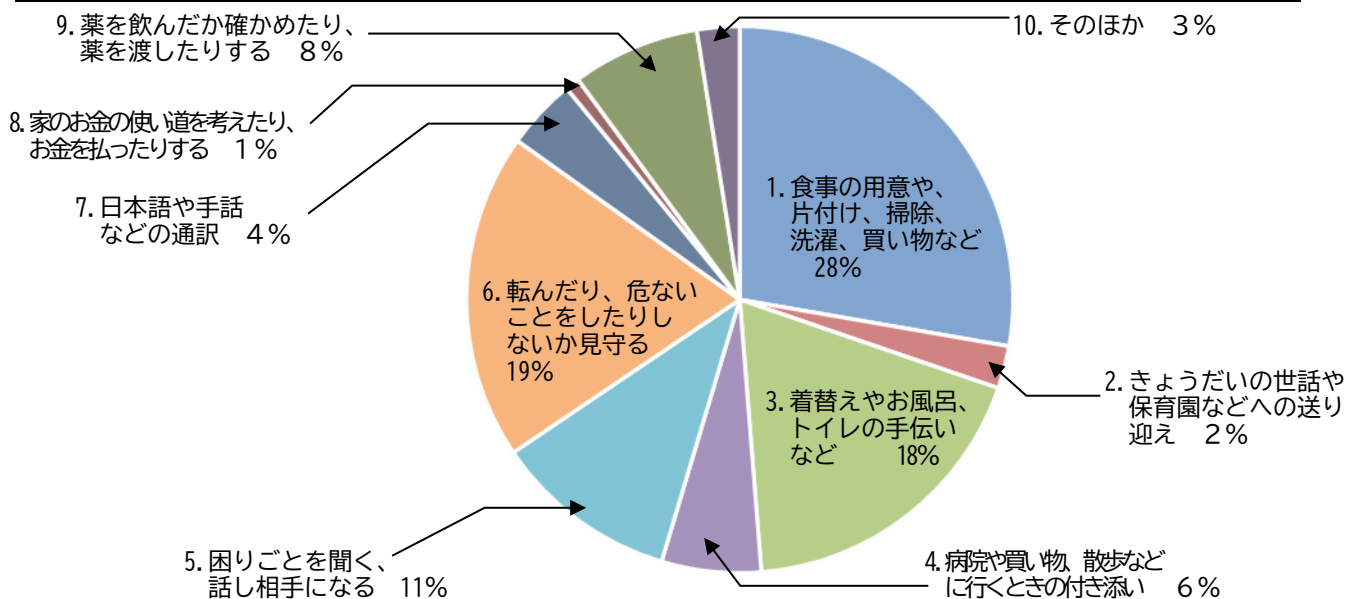


**問5** あなたはどのようなお世話（せわ）をしていますか

回答数119件のうち、「1. 食事の用意等」が33件で28%と最も多く、次に「6. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」が23件で19%、「3. 着替えやお風呂、トイレの手伝い」が22件で18%となっている。

■回答数計：119件（複数選択可）

回答	1. 食事の用意や片付け、掃除、洗濯、買い物など	2. きょうだいの世話や保育園などの送り迎え	3. 着替えやお風呂、トイレの手伝いなど	4. 病院や買い物、散歩などに行くときの付き添い	5. 困りごとを聞く、話し相手になる	6. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る	7. 日本語や手話などの通訳	8. 家のお金の使い道を考えたり、お金を払ったりする	9. 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする	10. そのほか
回答数	33	3	22	7	13	23	5	1	3	



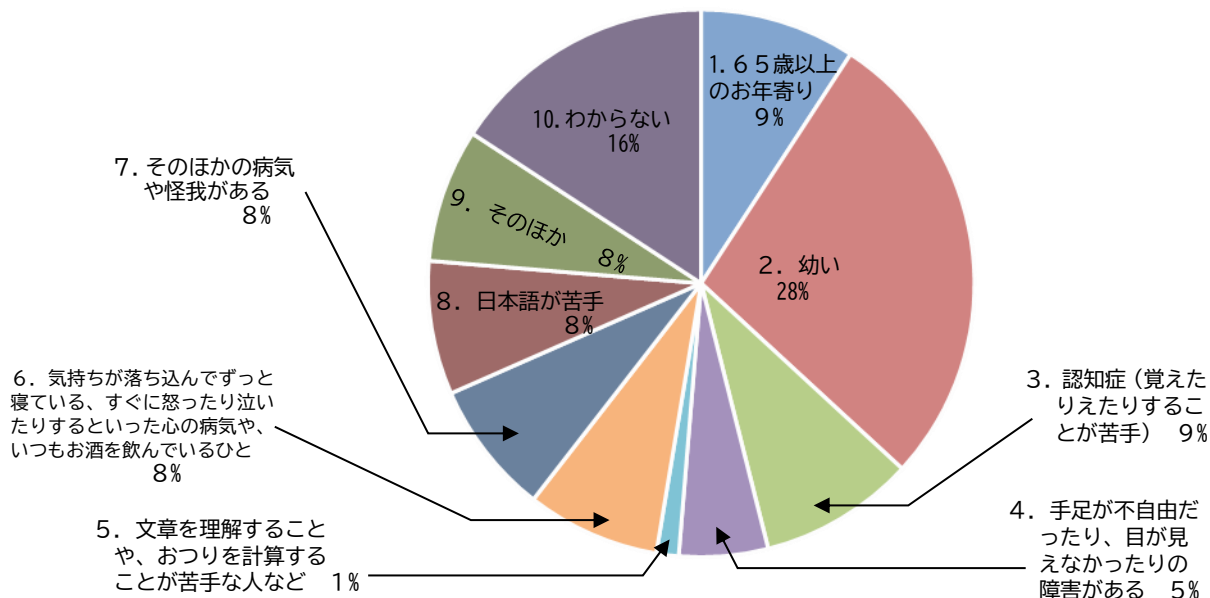
### 問6

お世話（せわ）を必要（ひつよう）としている方（かた）はどんな状況（じょうきょう）ですか

回答数76件のうち、最も多いのは「2. 若い」で21件になり、28%。次に「10. わからない」が12件で16%、「1. 65歳以上のお年寄り」と「3. 認知症、覚えたり考えたりすることが苦手」が同じく7件になり、9%となっている。

■回答数計：76件（複数選択可）

回答	1. 65歳以上のお年寄り	2. 若い	3. 認知症（覚えたり考えたりすることが苦手）	4. 手足が不自由だったり、目が見えなかったり障害がある	5. 文章を理解することや、おつりを計算することが苦手な人など	6. 気持ちが落ち込んでずっと寝ている、すぐに怒ったり泣いたりするといった心の病気や、いつもお酒を飲んでいるひと	7. そのほかの病気や怪我がある	8. 日本語が苦手	9. そのほか	10. わからない
回答数	7	21	7	4	1	6	6	6	6	12



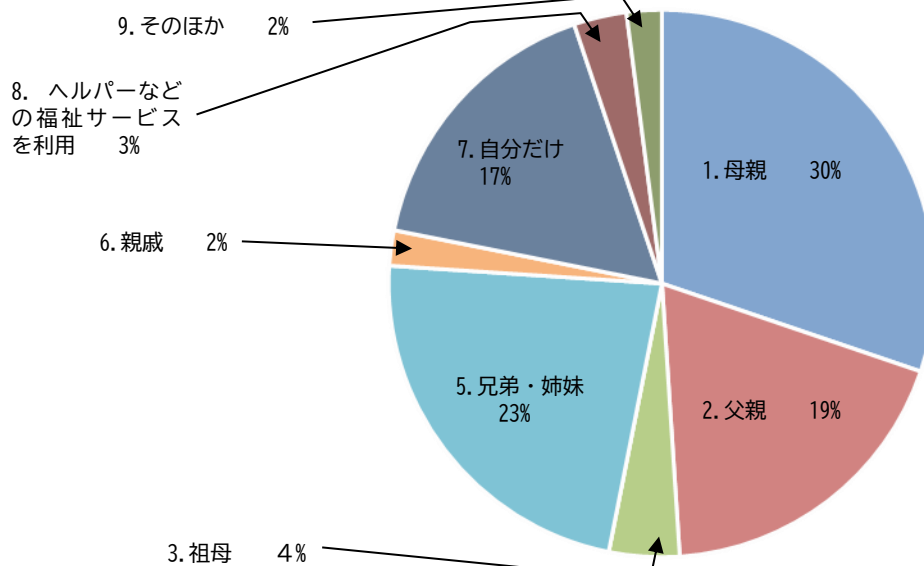
### 問7

お世話（せわ）は誰（だれ）と行っていますか。

回答数96件のうち、最も多いのは「母親」で29件、30%。続いて「兄弟・姉妹」で22件、23%、「父親」で18件、19%、「自分だけ」で16件、17%になっている。

■回答数計：96件（複数選択可）

回答	1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父	5. 兄弟・姉妹	6. 親戚	7. 自分だけ	8. ヘルパーなどの福祉サービスを利用	9. そのほか
回答数	29	18	4	0	22	2	16	3	2





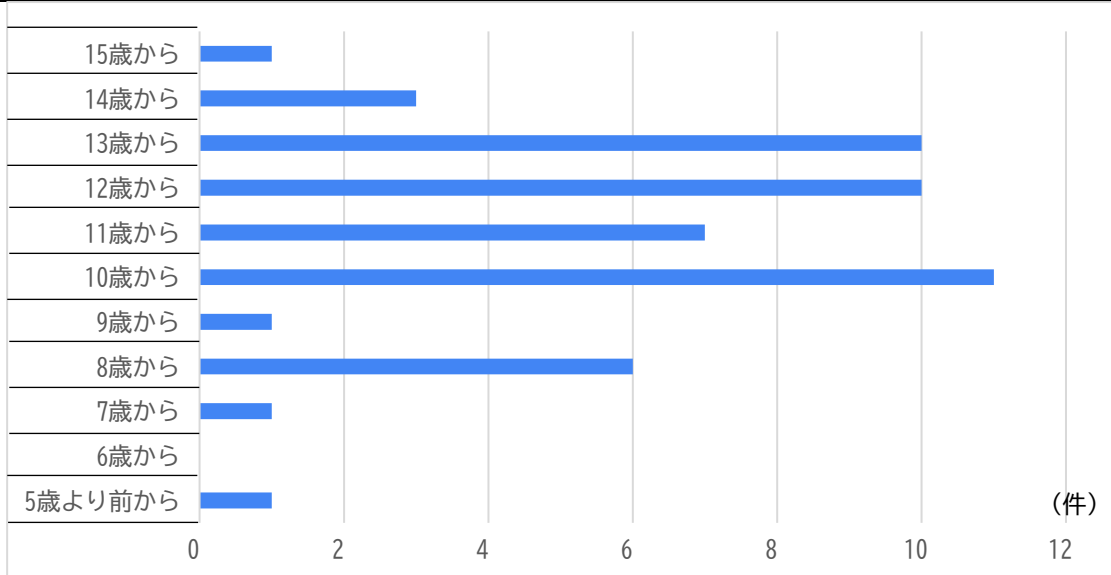
### 問8

お世話（せわ）はいつからしていますか。お世話を始（はじ）めた年齢（ねんれい）を教（おし）えてください

回答数51件のうち、最も多かったのは、「10歳から」で11件、次に「12歳から」と「13歳から」が10件、「11歳から」が7件となっている。

■回答数計：51件

回答	5歳より前から	6歳から	7歳から	8歳から	9歳から	10歳から	11歳から	12歳から	13歳から	14歳から	15歳から
回答数	1	0	1	6	1	11	7	10	10	3	1



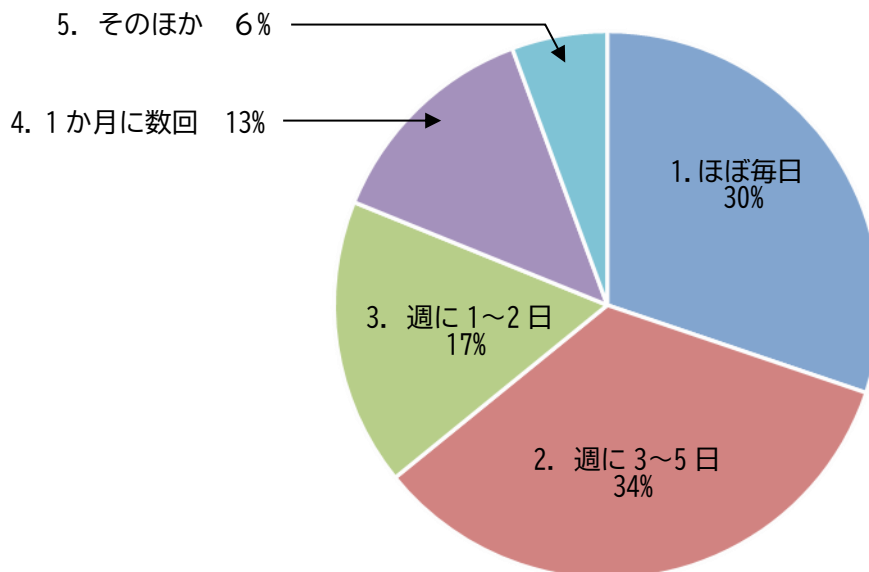
### 問9

お世話（せわ）をしている回数（かいう）を教（おし）えてください

回答数53件のうち、最も多いのは「2. 週に3～5日」が18件で34%、次に「1. ほぼ毎日」が16件で30%、「3. 週に1～2日」が9件で17%の順になっている。

■回答数計：53件

回答	1. ほぼ毎日	2. 週に3～5日	3. 週に1～2日	4. 1か月に数回	5. そのほか
回答数	16	18	9	7	3

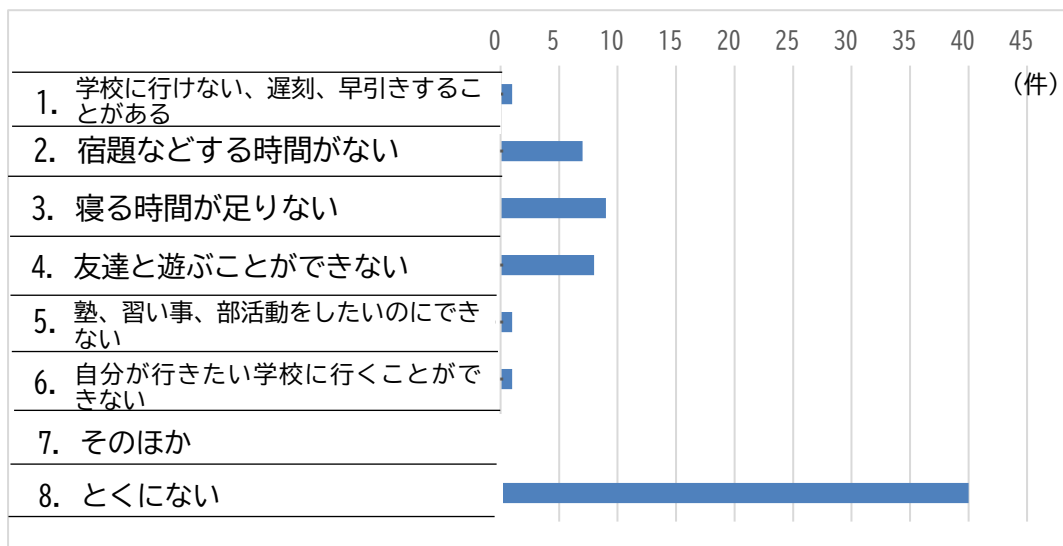


**問10** お世話（せわ）をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか

回答数67件のうち、最も多いのは、「8. とくにない」で40件です。次に「3. 寝る時間が足りない」が9件、「4. 友達と遊ぶことができない」が8件となっている。

■回答数計：67件（複数選択可）

回答	1. 学校に行けない、遅刻、早引きすることがある	2. 宿題などする時間がない	3. 寝る時間が足りない	4. 友達と遊ぶことができない	5. 塾、習い事、部活動をしたいのにできない	6. 自分が行きたい学校に行くことができない	7. そのほか	8. とくにない
回答数	1	7	9	8	1	1	0	40

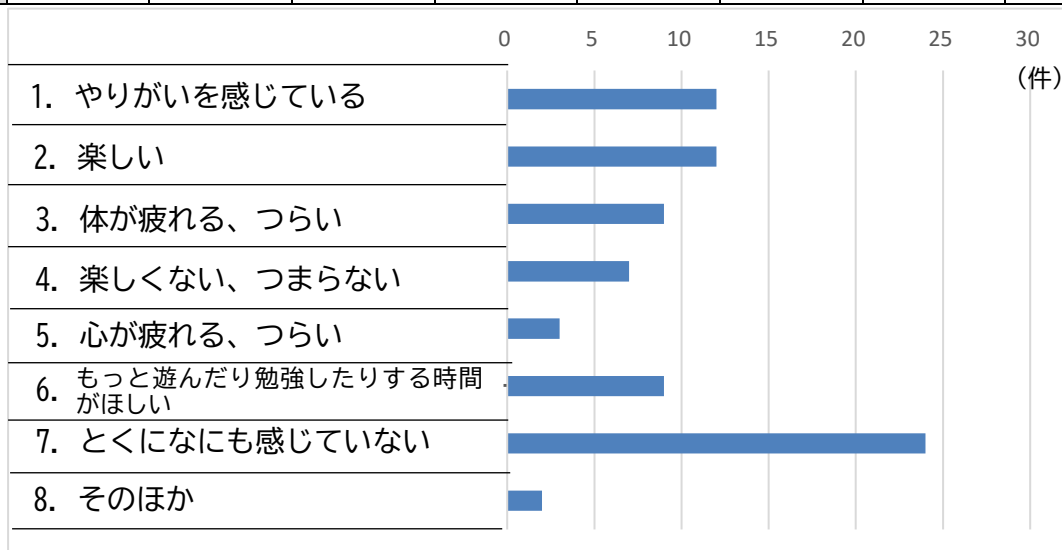


**問11** お世話（せわ）をすることについて、どのようなことを感（かん）じていますか

回答数78件のうち、最も多いのは、「7. とくになにも感じていない」で24件。次に「1. やりがいを感じている」と「2. 楽しい」が同数で12件、「3. 体が疲れる、つらい」と「6. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」が同数で9件となっている。

■回答数計：78件（複数選択可）

回答	1. やりがいを感じている	2. 楽しい	3. 体が疲れる、つらい	4. 楽しくない、つまらない	5. 心が疲れる、つらい	6. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい	7. とくになにも感じていない	8. そのほか
回答数	12	12	9	7	3	9	24	2



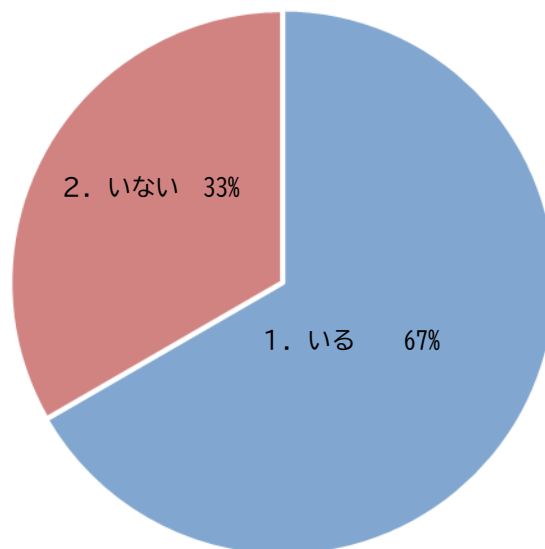
### 問12

家族（かぞく）のことや、お世話（せわ）の悩（なや）みを聞（き）いてくれる人（ひと）はいますか

回答数54件のうち、悩みを聞いてくれる人は、「1. いる」が36件で67%、「2. いない」が18件で33%となっている。

■回答数計：54件

回答	1. いる	2. いない
回答数	36	18



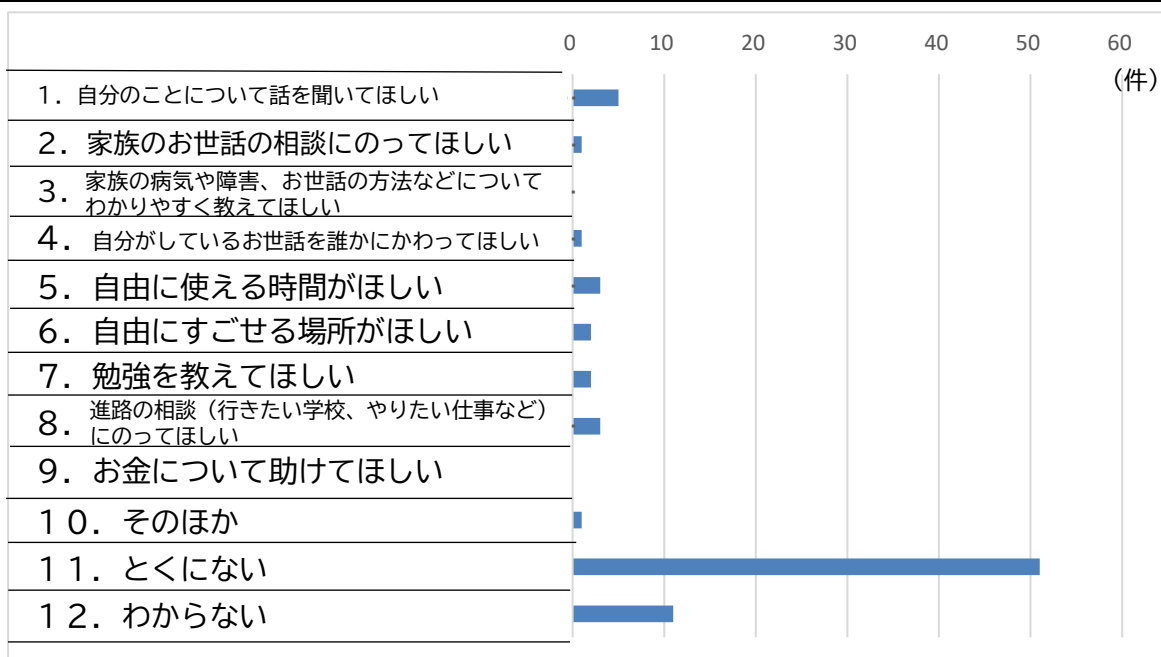
### 問13

周（まわ）りの大人（おとな）に助（たす）けてほしいことなどはありますか

回答数80件のうち、「11. とくにない」が51件と最も多く、「12. わからない」が11件、「1. 自分のことについて話を聞いてほしい」が5件となっている。

■回答数計：80件（複数選択可）

回答	1. 自分 のこと について 話を 聞いて ほしい	2. 家族 のお世 話の相 談にの ってほ しい	3. 家族の病 気や障 害、お 世話の 方法な どにつ いてわ かりや すく教 えてほ しい	4. 自分 がして いるお 世話を 誰かに かわっ てほし い	5. 自由 に使用 できる 時間が ほしい	6. 自由 にすご せる場 所がほ しい	7. 勉強 を教え てほし い	8. 進路の 相談（ 行きた い学校 、やり たいし 事など ）にの ってほ しい	9. お金 につい て助け てほし い	10. そ のほか	11. と くにな い	12. わ からな い
回答数	5	1	0	1	3	2	2	3	0	1	51	11



## 【高校生世代】 回答人数：242人

**問1** あなたの年齢を教えてください。

回答	1. 15-16 歳 (高校1年生世代 2007/4/2~2008/4/1 生)	2. 16-17 歳 (高校2年生世代 2006/4/2~2007/4/1 生)	計
回答数	114	120	234

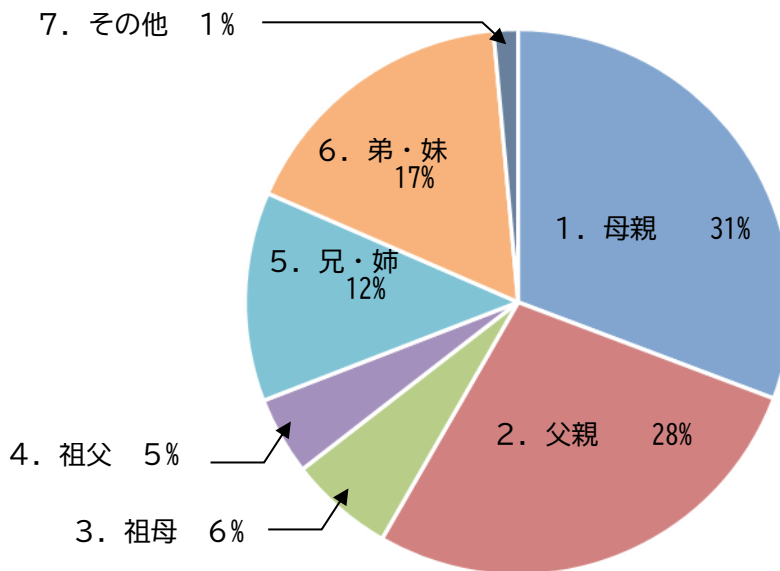
※回答人数と合計回答数が異なるのは、未回答の児童がいるため。

**問2** 現在一緒に住んでいる家族について教えてください

「母親」が233件、「父親」が209件、「弟・妹」が129件、「兄・姉」が94件となっている。

■回答数計：758件（複数選択可）

回答	1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父	5. 兄・姉	6. 弟・妹	7. その他
回答数	233	209	47	35	94	129	11

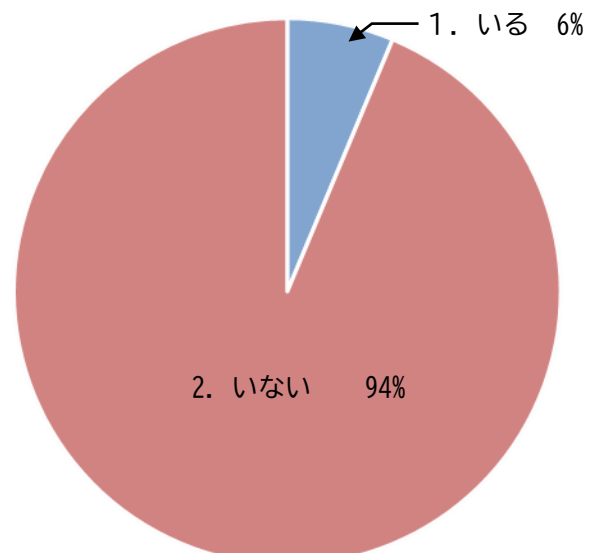


**問3** 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか

お世話をしている人が「いる」が6%、「いない」が94%となっている。

■回答数計：238件

回答	1. いる	2. いない
回答数	15	223

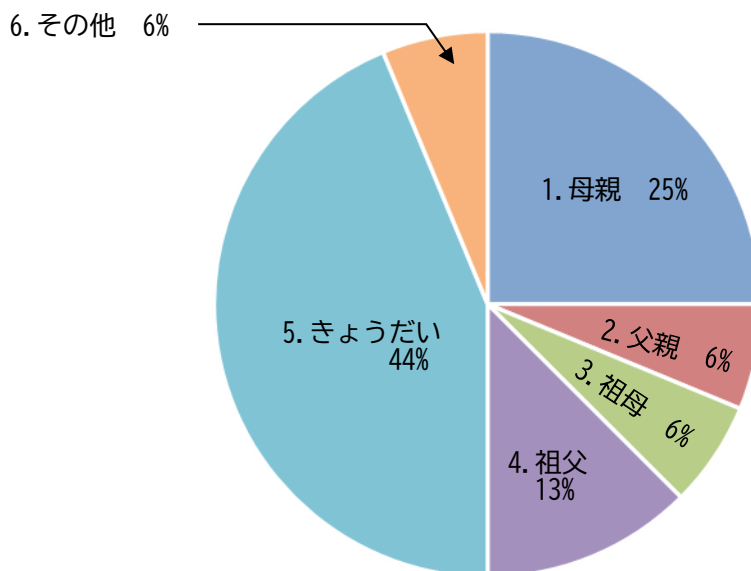


**問4** あなたは誰のお世話をしていますか

回答数16件のうち、「きょうだい」が7件で44%と最も多く、「母親」が4件で25%、「祖父」が2件で13%となっている。

■回答数計：16件（複数選択可）

回答	1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父	5. きょうだい	6. その他
回答数	4	1	1	2	7	1

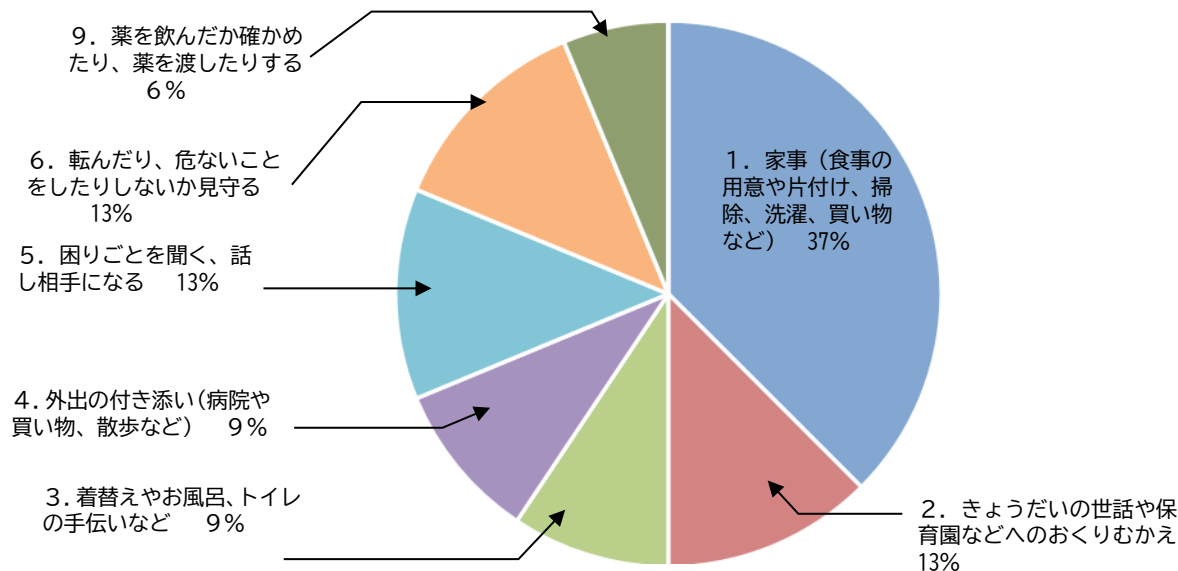


**問5** あなたはどのようなお世話をしていますか

回答数32件のうち、「1. 家事（食事の用意等）」が12件で37%と最も多く、次に「2. きょうだいの世話や保育園などへのおくりむかえ」と「5. 困りごとを聞く、話し相手になる」、「6. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」が4件で13%となっている。

■：回答数計：32件（複数選択可）

回答	1. 家事（食事の用意や片付け、掃除、洗濯、買い物など）	2. きょうだいの世話や保育園などへのおくりむかえ	3. 着替えやお風呂、トイレの手伝いなど	4. 外出の付き添い（病院や買い物、散歩など）	5. 困りごとを聞く、話し相手になる	6. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る	7. 通訳（日本語や手話など）	8. 家のお金の管理をする（使い道を考えたり、お金を払ったりする）	9. 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする	10. その他
回答数	12	4	3	3	4	4	0	0	2	0



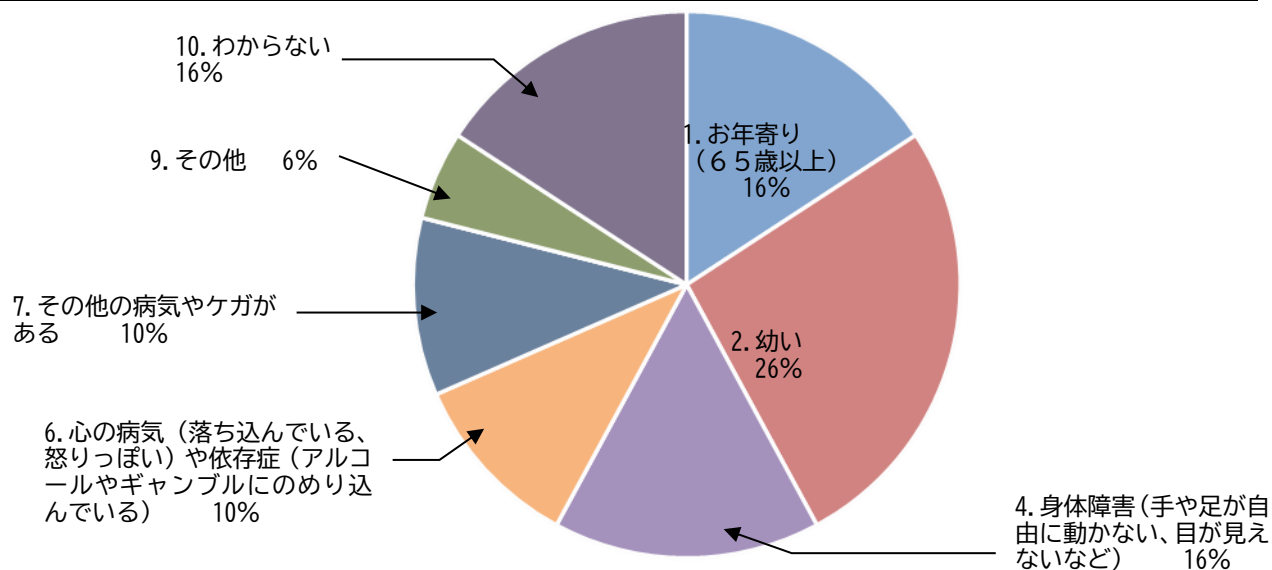
## 問6

お世話を必要としている方はどんな状況ですか

回答数19件のうち、最も多いのは「2. 若い」で5件になり、26%。次に「1. 65歳以上のお年寄り」と「4. 身体障害(手や足が自由に動かない、目が見えないなど)」が同じく3件になり、16%となっている。

■回答数計：19件（複数選択可）

回答	1. お年寄り(65歳以上)	2. 若い	3. 認知症(覚えたり考えたりすることが苦手)	4. 身体障害(手や足が自由に動かない、目が見えないなど)	5. 知的障害(文章を理解することや、おつりを計算することが苦手な人など)	6. 心の病気(落ち込んでいる、怒りっぽい)や依存症(アルコールやギャンブルにのめり込んでいる)	7. その他の病気やケガがある	8. 日本語が苦手	9. その他	10. わからない
回答数	3	5	0	3	0	2	2	0	1	3



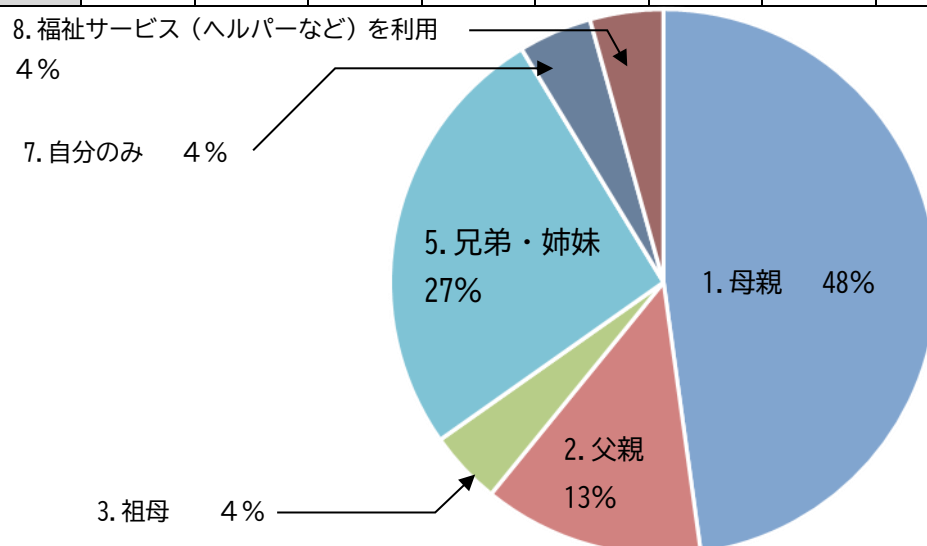
## 問7

お世話は誰と行っていますか。

回答数23件のうち、最も多いのは「母親」11件、47%。続いて「兄弟・姉妹」で6件、26%、「父親」で3件、13%となっている。

■回答数計：23件（複数選択可）

回答	1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父	5. 兄弟・姉妹	6. 親戚の人	7. 自分のみ	8. 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	9. その他
回答数	11	3	1	0	6	0	1	1	0



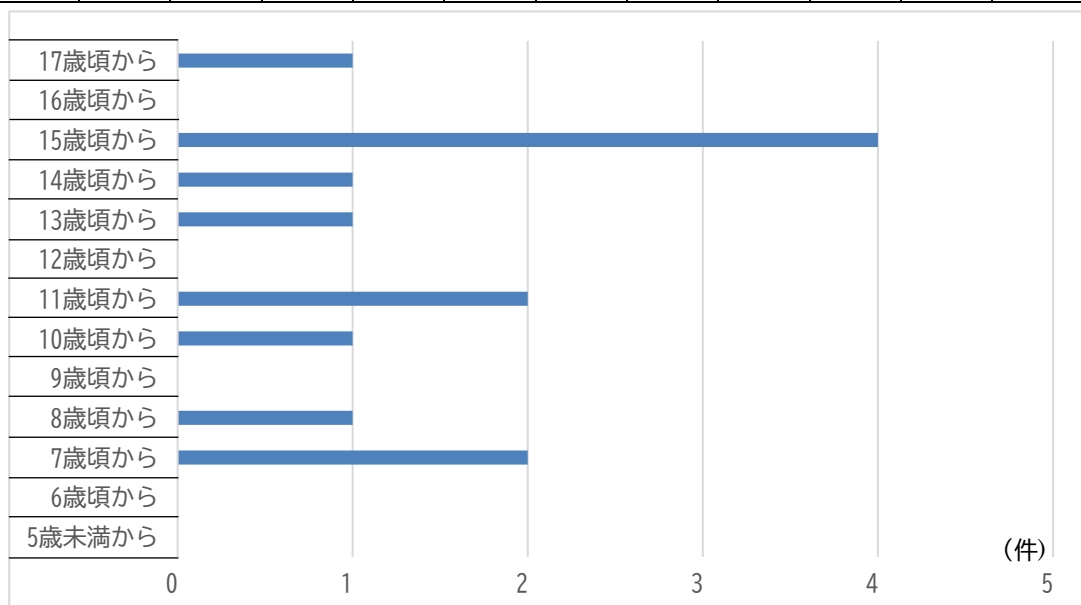
### 問8

お世話はいつから行っていますか。お世話を始めた年齢を教えてください

回答数13件のうち、最も多かったのは、「15歳から」で4件、次に「7歳から」と「11歳から」が2件となっている。

■回答数計：13件

回答	5歳未満から	6歳頃から	7歳頃から	8歳頃から	9歳頃から	10歳頃から	11歳頃から	12歳頃から	13歳頃から	14歳頃から	15歳頃から	16歳頃から	17歳頃から
回答数	0	0	2	1	0	1	2	0	1	1	4	0	1



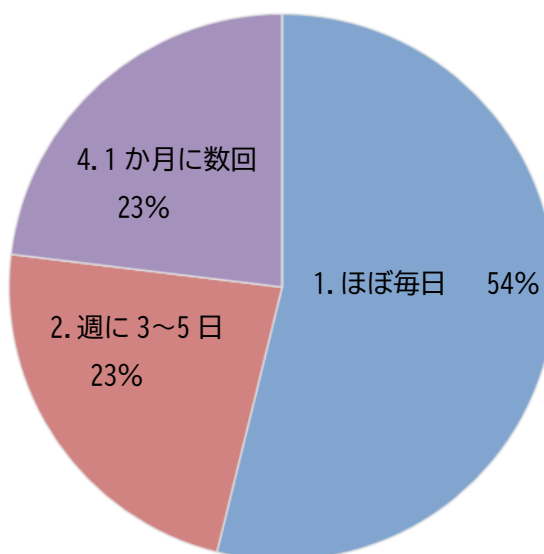
### 問9

お世話をしている頻度を教えてください

回答数13件のうち、最も多いのは「1. ほぼ毎日」が7件で54%、次に「2. 週に3~5日」と「4. 1か月に数回」が3件で23%になっている。

■回答数計：13件

回答	1. ほぼ毎日	2. 週に3~5日	3. 週に1~2日	4. 1か月に数回	5. その他
回答数	7	3	0	3	0



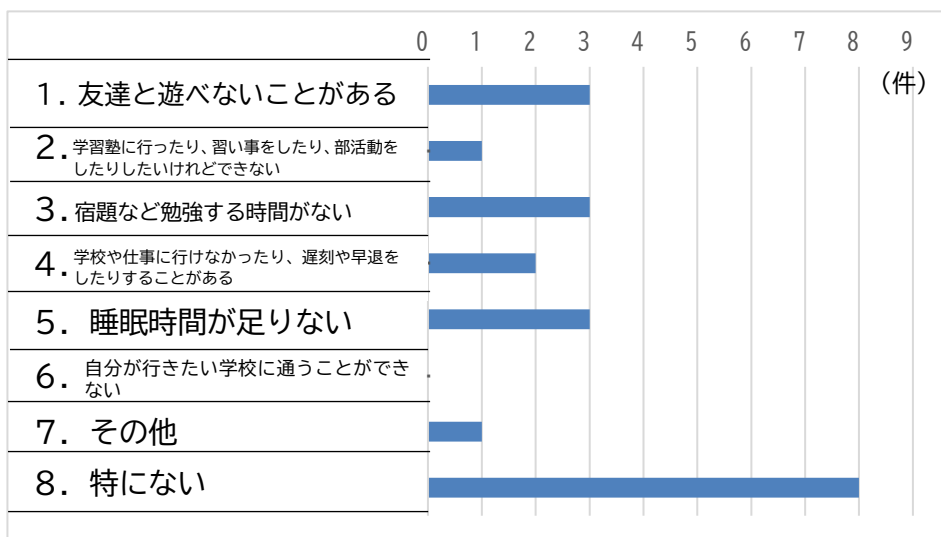
### 問10

お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか

回答数21件のうち、最も多いのは、「8. 特にない」で8件。次に「1. 友達と遊べないことがある」と「3. 宿題など勉強する時間がない」、「5. 睡眠時間が足りない」が同じく3件となっている。

■回答数計：21件（複数選択可）

回答	1. 友達と遊べないことがある	2. 学習塾に行ったり、習い事をしたり、部活動をしたりたいけれどできない	3. 宿題など勉強する時間がない	4. 学校や仕事に行けなかったり、遅刻や早退をしたりすることがある	5. 睡眠時間が足りない	6. 自分が行きたい学校に通うことができない	7. その他	8. 特にない
回答数	3	1	3	2	3	0	1	8



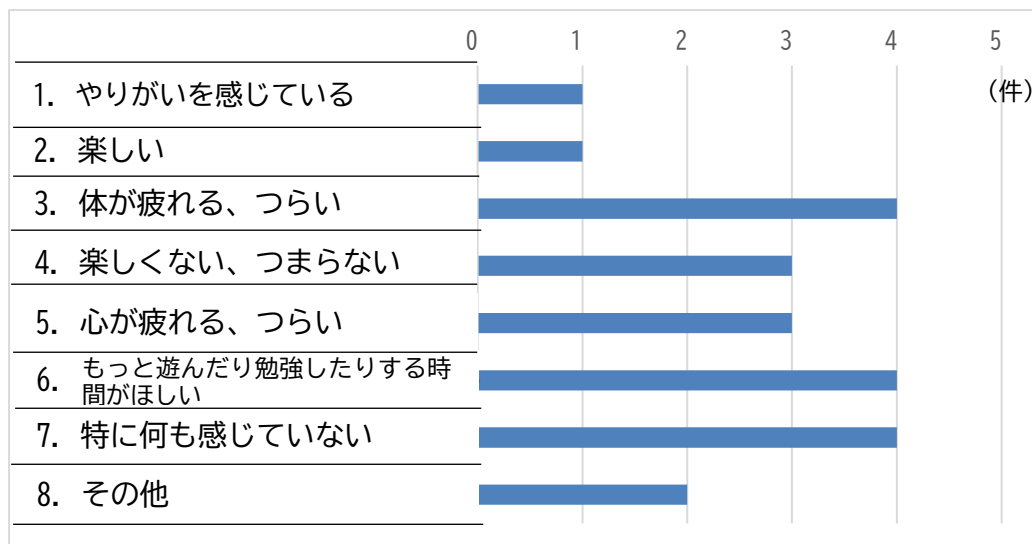
### 問11

お世話をすることについて、どのようなことを感じていますか

回答数22件のうち、最も多いのは、「3. 体が疲れる、つらい」と「6. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」、「7. 特に何も感じていない」が同じく4件。「4. 楽しくない、つまらない」、「5. 心が疲れる、つらい」がそれぞれ3件となっている。

■回答数計：22件（複数選択可）

回答	1. やりがいを感じている	2. 楽しい	3. 体が疲れる、つらい	4. 楽しくない、つまらない	5. 心が疲れる、つらい	6. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい	7. 特に何も感じていない	8. その他
回答数	1	1	4	3	3	4	4	2



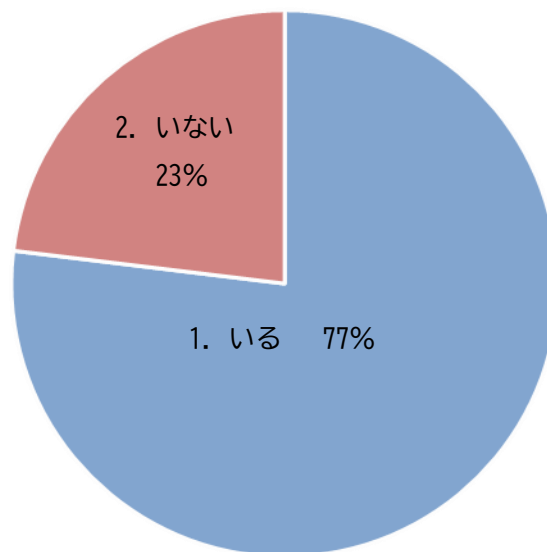


**問12** お世話を必要としている家族のことや、お世達の悩みを聞いてくれる人はいますか

回答数13件のうち、悩みを聞いてくれる人は、「いる」が77%、「いない」が23%となっている。

■回答数計：13件

回答	1. いる	2. いない
回答数	10	3

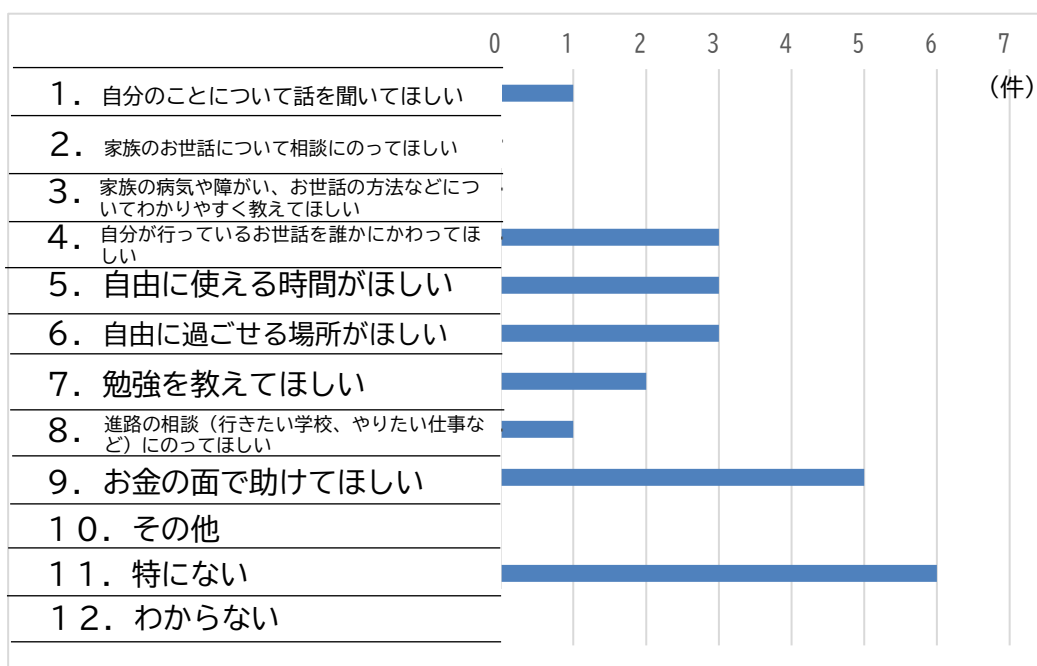


**問13** 学校や周りの大人に助けてほしいことなどはありますか

回答数24件のうち、「11. 特にない」が6件と最も多く、「9. お金の面で助けてほしい」が5件、「4. 自分が行っているお世話を誰かにかわってほしい」と「5. 自由に使える時間がほしい」、「6. 自由に過ごせる場所がほしい」が同じく3件となっている。

■回答数計：24件（複数選択可）

回答	1. 自分 のこと について 話を 聞いて ほしい	2. 家族 のお世 話につ いて相 談にの ってほ しい	3. 家族 の病気 や障が い、お 世話の 方法な どにつ いてわ かりや すく教 えてほ しい	4. 自分 が行っ ている お世話 を誰か にかわ ってほ しい	5. 自由 にを使 える時 間がほ しい	6. 自由 に過ご せる場 所がほ しい	7. 勉強 を教え てほし い	8. 進路 の相談 (行き たい学 校、や りたい 仕事な ど)に のって ほしい	9. お金 の面で 助けて ほしい	10. そ の他	11. 特 にな い	12. わ からな い
回答数	1	0	0	3	3	3	2	1	5	0	6	0



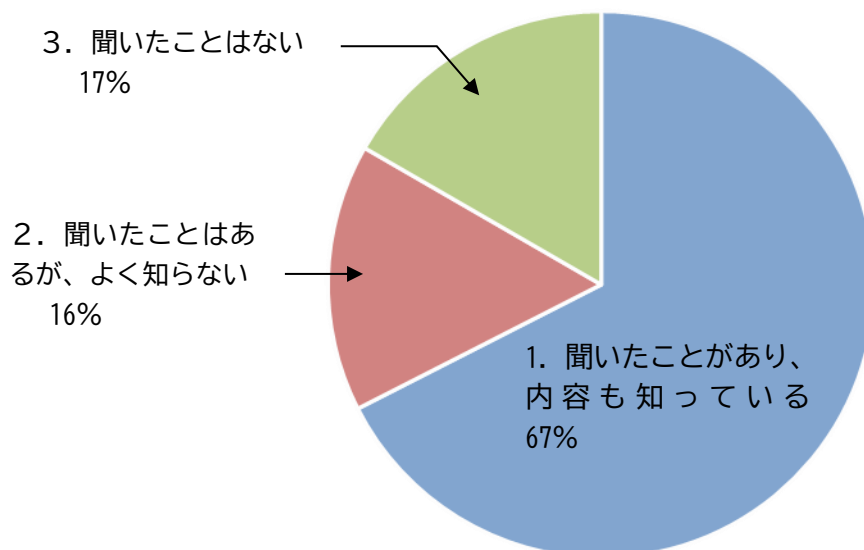
**問14**

「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか

回答数240件のうち、「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」は162件で67%、「3. 聞いたことはない」は40件で17%、「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」が38件で16%、となっている。

■回答数計：240件

回答	1. 聞いたことがあり、内容も知っている	2. 聞いたことはあるが、よく知らない	3. 聞いたことはない
回答数	162	38	40

**問15**

【自由意見】ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、要望などを書いてください。

■意見数：102件（原文どおり掲載）

「ヤングケアラー」というもの(意味)やその実態 についての社会理解。また、学校においてはその学校の先生はもちろんのこと、自分が今いるクラスの友達やその他クラスメート、自分の学年での友達、先輩や後輩の中にも、ヤングケアラーの人がいるかもしれないように、その人と同年代である自分たちも理解し、その人とそのご家族の支えになることをしてあげる。また、私たちが住むこの地球のどこかでもヤングケアラーに似た状況の子供もいる。そのことは可能な限り理解し、行政等の機関で国際的支援を受ける。

18歳未満に一律月50万給付すればいいと思う。

CMなどSNSなどを利用して広げる

いつもありがとうございます。ヤングケアラーの支援を広げていくためには、まず、全員がヤングケアラーの存在を理解し、支えていこうという意識を持つことが必要になると思います。その上で、市としても、ヤングケアラーなどの福祉支援をもっと手厚くできるように予算をご検討していただきたいです。

お金、誰かの支え、ケアマネージャー

お金の支援が必要

お金の面で大変な事が多すぎるからバイトを学校で禁止にするのやめて欲しい。許可取れたとしてもルール厳しすぎて全然入れないからほぼ意味がない。
お金の問題もそうですし人手も足りないと思うので市、国から人手を増やせばいいと思う。
こういったアンケートを子ども自身に渡すこと
その子どもさんの親戚に家事やお世話などを任せてもらって、あとは学校へ気兼ねなく行けるように協力してほしい
その子と仲良くする、相手のことを考える
どこに相談すればいいのかははっきり示したポスターなどを学校などに掲示する
ポスター、CM
ポスターや cm を増やすことが良いと思う
まず、声をあげないと、誰も助けることができないと思うので、学校の授業でヤングケアラーについて扱うことで、自分がヤングケアラーだと知ること、助けを求めることができ、自分のことに集中できるようになると思いました。また、家事を支援してくれるボランティア団体などがあると良いと思います。
まずは知ってもらう、興味を持ってもらうことが大切だと思う。
もう少し、自然に病気の人や年寄を見守るシステムがあればいいと思います、
もっと家庭をもつ女の立場楽にしてほしい。
ヤングケアラーが今どのくらいいるのか。また、これからヤングケアラーはどのくらい増えていくのか。ということの認識が大衆化されるべきだと思う。
ヤングケアラーっていうものがあるということ色んな人に言っていった方がいいと思う
ヤングケアラーである人たちが、他の人との関わりを諦めなければいけないような状況を作り出さないこと
ヤングケアラーについて、学校では習わないから、ヤングケアラーの子たちはそれが普通だと思ってると思うから、学校でヤングケアラーという言葉を教えるべきだと思う
ヤングケアラーについて講演を学校で行う
ヤングケアラーについて知ってもらうために、ポスターを作る。
ヤングケアラーには介護を無償でできるようにする。
ヤングケアラーに勉強の時間を設ける
ヤングケアラーのことをもっといろんな人に知ってほしい相談できる人がいてほしいと思います。
ヤングケアラーの子がやりたいことができるようにしてほしい
ヤングケアラーの人が助けを求めやすい環境づくりが必要だと思う。
ヤングケアラーの人が頼りやすい社会ができてほしい
ヤングケアラーの人は、自分で望んでなっているわけではないし、自分の青春時代をケアに使い、自分のしたいことができないのは、とても良くないことだと思う。誰か、ボランティアの人を作って、ケアをする人を作るべきだと思います。
ヤングケアラーの人達だけじゃなくて町や市全体の人たちと市自体がもっと身近になればいいと思う

ヤングケアラーの方のやりたいことを尊重し、それが実現できるような環境を周りの大人がつくること。
ヤングケアラーの本人の声を聞くために、LINE、X(旧 Twitter)等に特設サイトを貼り、意見を募集する。また、スマートフォン等機器を持っていない場合は、地域のゴミ収集事業の時に同時に悩み相談ブースを設ける等意見を発する機会を設ける
ヤングケアラーはお金もだが時間や自由も必要なので資金援助だけでなく時間も作ってあげられるように援助すべきだと思う
ヤングケアラーはスマホを見たり、外へ出かけたりする暇がないと思うので、家にいるだけでヤングケアラーに関する情報が入ってくるようなアプローチが必要だと思う。(例 ポストにチラシを投函したり、スピーカーを使って大きな音で呼びかけする)また、ヤングケアラーの定義がわかりにくいので、日本語で表すべきだと思う。(例 世話する子ども、大人みたいな子ども)
ヤングケアラーへの支援ではなくヤングケアラーになる人を減らす、無くすような政策があった方がいいと思う
ヤングケアラーへの支援としては、経済的な補助や心のケアが必要だと考えました。
ヤングケアラーをもっと知ってもらい、介護士業界の発展
ヤングケアラーを減らすのももちろんだが世話する対象者を減らす。
ヤングケアリングしながら授業が受けれるようにする
一人一人がヤングケアラーを理解していくことが必要
何気ない近所の人との関わりを大切にするために、子供・大人関係なく地域の人と共同で行える企画を実施する
家事は子どもの責任ではなく、親の責任であることを親に理解してもらいましょう。したがって、学校を通じて保護者に通知する必要があります。
家事分担
家族のことは、なかなか人に話したり助けを求めることはできない気がします。
介護などの負担を軽減してくれるヘルパーさんの設置
介護などをできる外部の人が無料で来れるようにしてほしい
介護施設の充実化
学校からもっとヤングケアラーについて扱った方が良くと思う
学校でカウンセリングを開く
学校でのヤングケアラーについての説明をし、当たり前にいるかもしれないという可能性を示唆しながら講習をするべきだと思う
学校での授業でこのヤングケアラーについて知ったので小学生の頃から学校で教育出来れば良いとおもう
学校で常に疲れた様子の子に声をかけることは大切だと思う。
学校などでアンケートをしてもらう
学校などで特別授業などを行い関心を深める
学校などの授業でヤングケアラーを取り扱うといいと思う。

学校には学習面と精神面での支援をもっとしてほしいです。
学校のアンケートの頻度をもっと増やすべき。
学校の宿題が、ヤングケアラーにとっては辛いかもしれないなと思います。私は、先生が出す宿題をやるよりも、自分で考えた勉強方法で自分の苦手部分を勉強した方が効果的だと思うので、学校の先生方にはそのようなことも考えていただけると良いのかなと思います。
頑張る。
教師や地域の大人が気にかけてあげることが大切だと思う
金
金銭的な援助
金銭的支援
行政がもっと援助するべきでは。最近では、勉強をみってくれるボランティアなどいろいろ聞きますが、行政ももっと中に入って援助してほしいです。
国が何とかしろ
困り事を相談でき、適切な援助が受けられる環境を整える必要があると思う。
子どもが自由に自分のしたいことをする時間を確保するために、世話などを手伝う施設を開設する。
子どもに対してアプローチを取るだけでなく、大人に対しても、子を『ヤングケアラー』にしていな いか、『ヤングケアラー』とは何かを教えることが大切だと思う。
施設などに入るお金が無い可能性もあるから補助金的なものが少しでもあるといいかもしれない（不正利用されないように）
施設整備
時間とお金の補助（ヤングケアラーの子に数時間でもフリータイムをあげるためにボランティアが 代わりに入る、家に食料品を届けるなど）
時間の確保(勉強などの学習する時間 友達と遊ぶ友好関係を深める時間 自分の趣味の幅を広げる時 間など)や子供らしい生活をさせる
自分はヤングケアラーではないですが、中学の時周りにヤングケアラーが居たことを思い出しまし た。「ヤングケアラーだから」が理由で本当にやりたいことが出来ないのは違う気がします。市として の支援がもう少しあったらより生きやすく、これからも犬山に住み続けたいと思うのでは無いでしょ うか。
自分はヤングケアラーでは無いのですが、こういうアンケートは学校とかで実施した方が効率もいい し、意見も沢山集まると思います。
自分も含めヤングケアラーへの理解が足りないと思った。
実態を的確に把握し、各家庭の状況に合った対策をとるべきだと思います
社会福祉を充実させて若い世代へお金を使うべきだと思います
車が使えないのに買い出しに行かなきゃ行けないということがありそうだから、免許取得を特別に許 すのでしょうか
周りに自分の話を聞いてくれる人がいてくれたら、それが支えになるんじゃないかなと思います。

周りの人が気付き、手助けすること
周囲の理解と気付きが必要だと思う。例えば隣の子がヤングケアラーだとしても知らなければ助けることはできない。周りが気づいて声をかけることが必要だと思います。
色んな理由があるとは思いますが、すごく大変そうだなって思うし、偉いなって思います。
色々お手伝いをしている人が沢山いるからその人に寄り添えるような人がいるといいと思う！
食料品をスーパーなどで配送を頼んだ時の配送料のサービス支援。例えば、イオンの宅配サービスを使った時の費用を減らす、無料にする。またお昼のサポートとしてお弁当を配送する、食事をさせるサービスを無料で支援。など
新聞広告に入れる
身の回りに対象の人がいたら、相談相手になる
税金をヤングケアラー支援に使う
相談できる、助けになる家族以外の大人（先生や地域の人）がいればヤングケアラーの心の支えになると思う。
相談や助けを求める事が出来る機関がある事をもっと広めて行く事が必要だと思う。テレビの cm やネットの広告で流すなど。
誰かに相談する
誰がやるべき仕事を明確に判断することが必要だと感じる
匿名で愚痴や悩みを聞いてもらえる窓口が欲しい。 アルバイトしてお金を稼ぎたいので、学校からの許可が簡単に取れるようになると嬉しい
特に金銭面のサポートをまずは充実させるべきだと思う。そうすれば外部にお世話を頼むこともできるから。精神的なサポートも必要ではあるけど、そればかりしては根本的な解決にならない。
特殊な状況下にある人間にとって、一番辛いことは特別扱いが過剰になって、自分が普通でないことを強く感じる事だと思うので、一般の人とヤングケアラーの現状に共通して助けとなる補助が必要だと感じる。
特定の人が必要なのではなく、近所の方が助ける方が気軽だし何かあった時に早く助けやすいのかなと思う。
疲れていたりストレスが溜まってそうだったら、話とか聞いてあげる
勉強や遊びの時間などを作れるようにする
募金を募る
民生委員や町内会などの地域のコミュニティで大人はヤングケアラーを助けていくべきだと思う。友達がもしヤングケアラーなら友達としてできることを一緒に模索していきたい。
問題を抱えている人たちが集まって気軽に話せる場をつくる。

## Ⅳ 犬山市のヤングケアラーの現状と今後の支援

- 本調査は、当市のヤングケアラーの実態把握を行うことで、喫緊の課題を見つけ、今後のヤングケアラー支援に繋げていくことを目的とした。
- 小学生から高校生世代までの児童約4,900人から回答を得て、今のヤングケアラーについて生の声を拾うことができた。

### 《犬山市のヤングケアラーの現状》

- 小学生低学年では、「お世話」と「お手伝い」を混同して回答していると考えられ、結果としてお世話をしている子どもの割合は、44%と高くなっている。これら全てがヤングケアラーに該当するものではないが、お世話をしている44%の子どものうち、「自分だけでお世話している」と答えた割合が約12%、また「つらい」と答えている児童は、8%いることが分かった。
- 小学生高学年から高校生では、「お世話をしている」と答えた割合が4%から8%となっており、そのうち30%から60%程度が、お世話をしていることを「つらい」と答えている。
- 以上のことから、小学生低学年を除き得られた回答数(3,392件)から推測すると、最大で子どもの約5%がヤングケアラーの可能性があると考えられる。
- また、子どもがお世話する対象は、兄弟や姉妹の割合が大きく、お世話の内容は、食事の用意等の家事が最も多かったほか、祖母や祖父も含めた見守り等の割合も大きいことが確認された。
- 今回の調査では、高校生世代から自由記述による意見をもらったが、「学校を通じ、ヤングケアラーについて認知度を上げる。」「ヤングケアラーの人が助けを求めやすい環境づくり、頼りやすい社会の仕組みづくり」「まずは、知ってもらい、興味を持ってもらうことが大切」「ヤングケアラーとして特別扱いをするのではなく、他の人と区別せず手助けできるとよい」など、様々な意見があった。

## 《今後の支援方針》

○ 市では、調査結果を踏まえ、ヤングケアラーを支援するための今後の方針を以下のように定める。

### ① 「ヤングケアラー」について正しく理解する。

「ヤングケアラーとは・・・」まず、大人も子どもも正しく理解する必要がある。

小中学校等へのパンフレット配布や、地域で子どもを見守る関係機関に対し研修等を実施することで社会全体の認知度を上げていく。

### ② 「ヤングケアラー」を見つけて支援する。

家族のケアで、既に介護等の福祉サービスを受けている家庭もあることが想定されることから、当事者を早期に見つけるため、サービス提供事業者からの情報も重要となる。福祉サービスを利用できていない家庭には、小中学校等や地域で子どもを見守る方々からの情報提供により、福祉サービスへつなげていく。

### ③ 「ヤングケアラー」が相談しやすい環境を整える。

「ヤングケアラー」は、自覚がないなどの理由から相談することが困難な状況も想定される。周りの大人が当事者に気づき、寄り添い、気軽に安心して話せる人や場所の確保をしていく。

例えば・・・

身近にいる学校の先生やスクールカウンセラー

家族のケアに関わっているヘルパー

24時間子ども SOS ダイヤル（フリーダイヤル）



## ■ヤングケアラーのイメージ（例）



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。